Printia LASER

B5WY-0971-01

Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ　XL-5900G/5400G

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。
富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。
Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Citrix、MetaFrame、MetaFrame XP は、Citrix Systems 社の登録商標、または商標です。
Adobe、Acrobat および Reader は、アドビシステムズ社の商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

● ＶＣＣＩ 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。ただし、ページプリンタは突入電源が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

●電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

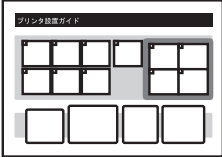
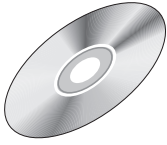
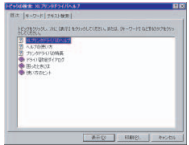
●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-5900G/5400G をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
XL-5900G は最大 30 ページ／分、XL-5400G は最大 25 ページ／分の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。
なお、本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を XL-XXXX と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。機種やソフトウェアのバージョン、OS によっては表示内容が一部異なることがあります。

2006 年 1 月

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

プリンタ設置ガイド	**設置ガイド** 同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの手順および取扱説明書での参照先を紹介しています。まず、このマニュアルを見て同梱品を確認してください。
Printia LASER 取扱説明書 ページプリンタ XL-XXXX FUJITSU	**取扱説明書** プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。 同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM に収められています。
	オンラインマニュアル（PDF） 添付の CD-ROM 内にソフトウェア編、取扱説明書等、機能ごとにいくつかの PDF ファイルが収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	オンラインヘルプ 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の 2 つの方法があります。 ・［?］をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に説明します。

取扱説明書

●セットアップ編

目次		内容
第１章	お使いになる前に	本プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
第２章	プリンタ本体の設置	プリンタ本体の設置方法からプリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明しています。
第３章	オプションの装着	オプションの取り付け方について説明しています。

●運用編

目次		内容
第４章	日常の操作	本プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明しています。
第５章	オペレータパネルの操作	プリンタの液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明しています。
第６章	用紙について	本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明しています。
第７章	こんなときには	故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明しています。
付録		本プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明しています。

オンラインマニュアル

目次	内容
ソフトウェア編	プリンタ設置後、パソコンから印刷を行えるようにするまでの手順や、プリンタドライバや添付ソフトウェアの使い方などの、ソフトウェアに関することがらについて説明しています。 主な記載内容： ・ プリンタドライバのインストール手順 ・ プリンタを共有するときの設定方法 ・ プリンタドライバの機能と利用方法 ・ プリンタ管理ソフトウェアの使い方 ・ Web ブラウザからのプリンタの状態参照や設定方法 ・ プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項
エミュレーション編	本プリンタをエミュレーションモード（ESC/P モード）で印刷する場合の設定方法について説明しています。

章構成についての詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付の CD-ROM からインストールしてください。

● Adobe Reader のインストール

添付の CD-ROM から次の手順で Adobe Reader をインストールすることができます。

1 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、Printianavi インストーラが自動的に起動したら [Adobe Reader] をクリックする

Adobe Reader のインストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

- Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「Adrdr.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。
- Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp
  ※上記 URL は、本書発行時点でのものです。

●オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

ガイド

Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM ドライブ直下の xlsetup.exe（CD-ROM ドライブが D: のときは「D:¥xlsetup.exe」）を実行するか、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから開き、3 に進んでください。

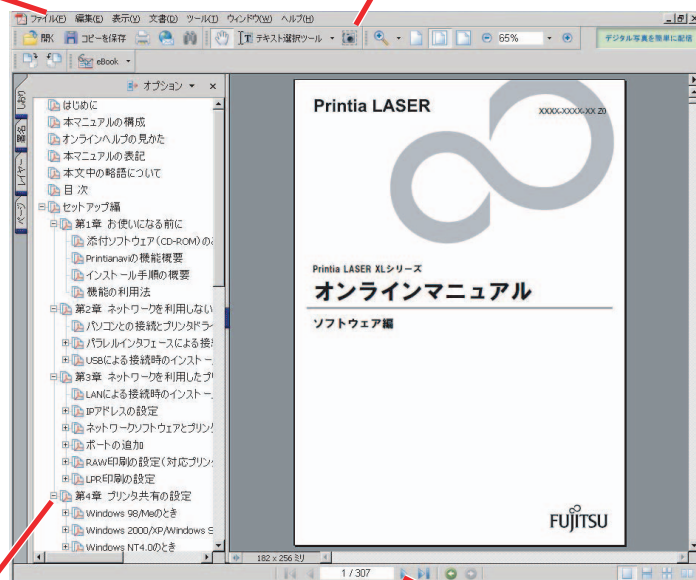
2 ［オンラインマニュアル］をクリックする

Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルの表紙が表示されます。

3 参照するマニュアル名をクリックする

マニュアルの本文は、次のような画面となります。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷や Adobe Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
をクリックすると表示を拡大します。
また、検索などの操作を行うことができます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
+が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

ステータスバー
をクリックすると次のページを表示します。

オンラインヘルプの見かた

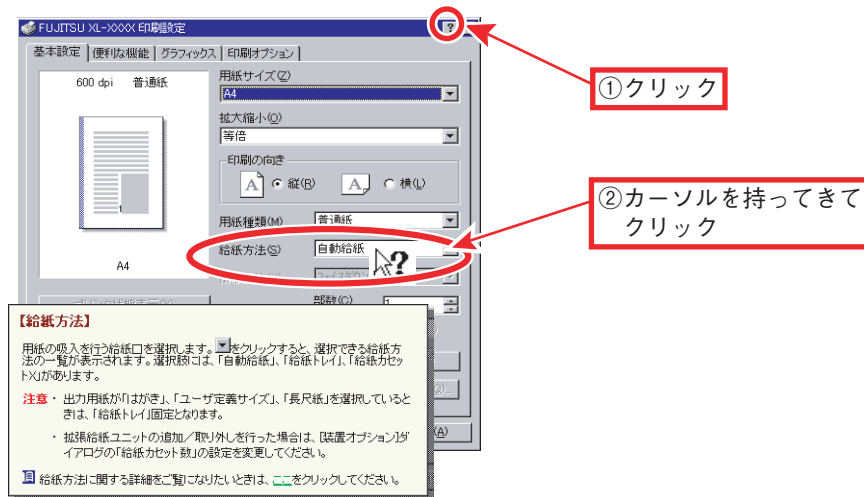
オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

[?] をクリックする

ダイアログの右上にある?をクリックするとカーソルの形が?に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

（例）給紙方法についてのヘルプをみる場合

①クリック

②カーソルを持ってきて
クリック

[ヘルプ] ボタンをクリックする

[ヘルプ] ボタンがあるダイアログで [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのダイアログに関する詳細なヘルプが表示されます。
詳しい利用方法については、ヘルプの［目次］の「ヘルプの使いかた」を参照してください。

製品に関する注意事項

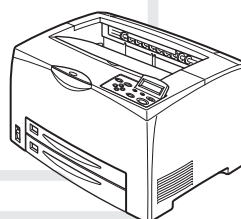
ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳細は、本文をよくお読みになったうえで本プリンタを正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について

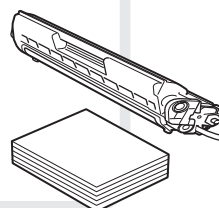
本プリンタの耐用期間（寿命）は、以下のいずれか早いほうです。

- 60万ページ印刷（A4サイズ横送り）
- 5年（8時間/日）

注）耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

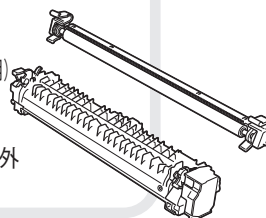
参照 「プリンタの基本仕様」（180 ページ）参照

サプライ品（消耗品）について

プロセスカートリッジや用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照 「サプライ品一覧」（189 ページ）参照

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

部品	交換時期
・定着器	10万ページ印刷
・用紙搬送ロールキット	20万枚印刷（給紙カセット、給紙トレイ搬送部用） 10万枚印刷（給紙トレイ用）
・転写ロール	20万ページ印刷

上記は、A4サイズ横送り/片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

参照 「オンラインマニュアルの見かた」（3 ページ）参照

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本プリンタに関するお問合せをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	オンラインマニュアル内で参照していただきたい参照先を示します。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Adobe® Reader	Adobe Reader
Adobe® Acrobat® Reader	Acrobat Reader

注：Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のように併記する場合があります。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

警告

次の場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。

- 火気のある場所
- ストーブやヒーター等の発熱器具に近い場所、高温になる場所
- アルコール、シンナー、ガソリン等の揮発性可燃物やカーテン等の燃えやすい物に近い場所
- 風呂場、シャワー室等の水場、水気のある場所

プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。

- 花瓶、植木鉢、コップ等の水や液体の入った容器
- クリップ、アクセサリー等の金属物

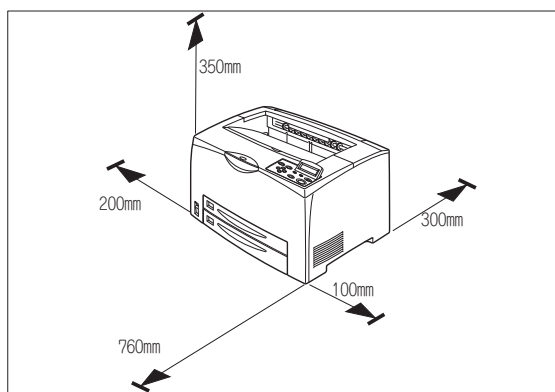
注意

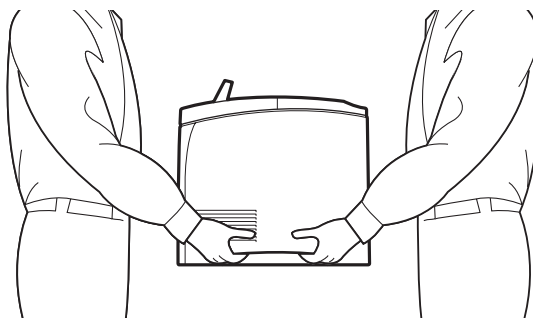
次の場所には設置しないでください。火災や感電、怪我の原因になります。

- 湿気・埃・油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所等の不安定な場所

注意

プリンタの通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

350mm
200mm
300mm
100mm
760mm

本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約20kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下により怪我の原因になることがあります。

プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

本プリンタは本体のみで約20kg、最大で約54kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、10度以上傾けないでください。

転倒などにより怪我の原因になることがあります。

注意

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブル等も外してください。作業は足元には充分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本プリンタが倒れたりして怪我の原因になることがあります。

電源に関するご注意

警告

添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

電源プラグは、交流100V、15A 以上のコンセント以外には差し込まないでください。本プリンタの定格電源は100V、10A です。また、タコ足配線はしないでください。

火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

電源プラグおよびその周辺に埃が付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると火災の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

埃が付いたりして、火災や故障の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

警告

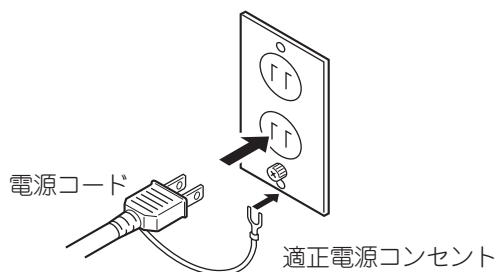
電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。

- 電源コンセントのアース線端子
- 銅片等を650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第３種）を行っている接地端子

アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「ハードウェア修理相談センター」（193ページ）にご連絡ください。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。

電源コード

適正電源コンセント

次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチック等になっている場合は、アースの役目を果たしません。）

オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因になります。

近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

注意

プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

１ヶ月に一度はプリンタの電源を切り、次のようなことを点検してください。

- **電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？**
- **電源プラグに異常な発熱および錆、変形などはありませんか？**
- **電源プラグやコンセントに埃が付いていませんか？**
- **電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？**
- **アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？**

なお異常があるときは、「ハードウェア修理相談センター」（193ページ）にご連絡ください。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、火傷や感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

警告

プリンタに水を掛けたり、濡らしたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

通風口等の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災や感電の原因になります。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。

火災や故障の原因になります。

次のようなときは、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

- **発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき**
- **異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき**
- **プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき**

その後「ハードウェア修理相談センター」（193ページ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリンタを分解したり改造したりしないでください。本書で指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。

内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明する恐れがあります。

プロセスカートリッジを火中に投じないでください。

トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。

参照 「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（193ページ）参照

注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。

火傷の原因になることがあります。

つまった用紙を取り除くときは次のことをお守りください。

- 本書をよくお読みください。
- ネクタイやネックレス等がプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
- 鋭利部に触れないよう注意してください。
- プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因になることがあります。
- 定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないで直ちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（193ページ）にご連絡ください。

使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、怪我の原因になることがあります。

用紙排出部のローラーが作動しているときは作動部には触れないでください。

指を挟み、怪我をする原因になることがあります。

トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。

万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本プリンタを安全にお使いいただくために、以下のような警告ラベルおよび注意ラベルがプリンタ内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。

目 次

セットアップ編

運　用　編

セットアップ編

第１章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の特長

本機の特長を示します。

1 高速で高品位な印刷

XL-5900G は最大 30 ページ / 分、XL-5400G は最大 25 ページ / 分の高速での印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。

2 ３つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN の３つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

3 高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

・プリンタドライバの設定により、N-up 印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。
・Printianavi 機能を利用することにより、プリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などがパソコンで行えるようになります。
・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

4 さまざまな用紙サイズに対応

定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズ (長尺紙を含む) といったさまざまな種類の用紙への印刷も可能です。

5 便利な機能

・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です。(定形サイズ印刷時のみ)
・給紙カセットからのユーザ定義サイズ（長尺紙除く）の用紙への印刷が可能です。

6 優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。
・両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
・拡張給紙ユニットを 2 段まで取り付けることができ、最大 1500 枚の用紙をセットすることができます。

7 各種ユーティリティを添付

プリンタの状態監視、複数文書のまとめ印刷、帳票作成、バーコード印刷などを簡単に行える各種ユーティリティソフトウェアを添付しています。
※ 詳細は添付の CD-ROM を参照してください。

8 セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなどセキュリティ面でも優れた機能を持っています。

9 CIDR（サイダー）のサポート

IP アドレス空間を効率的に利用できる CIDR 技術に対応しています。

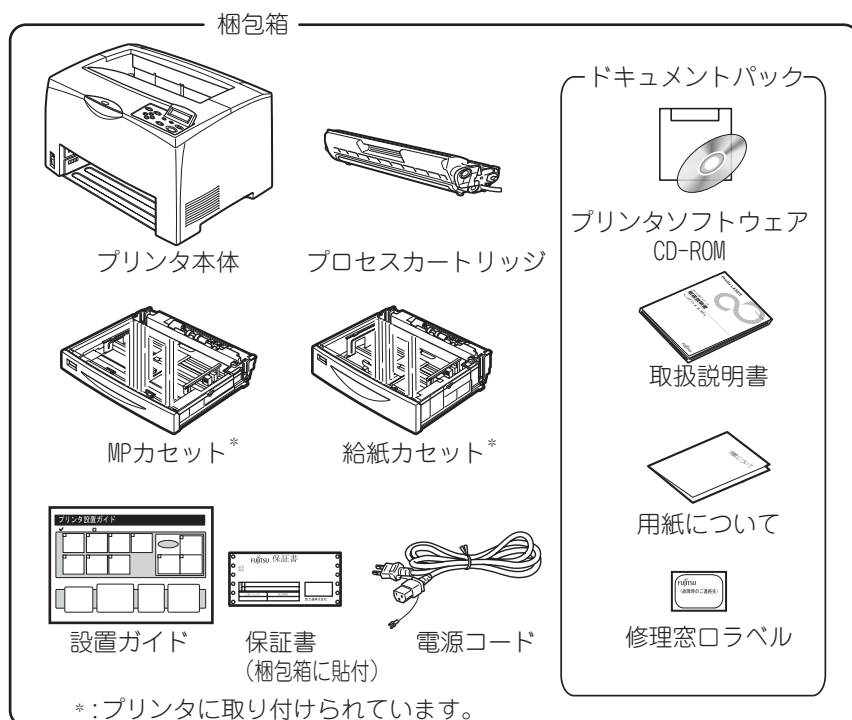
製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※プリンタは、必ず２人以上で持ち運んでください。

梱包箱

プリンタ本体
プロセスカートリッジ
MPカセット*
給紙カセット*
設置ガイド
保証書
（梱包箱に貼付）
電源コード

ドキュメントパック
プリンタソフトウェア
CD-ROM
取扱説明書
用紙について
修理窓口ラベル

＊：プリンタに取り付けられています。

お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル（パラレルケーブル、USB ケーブル）は添付されていません。
別売ケーブルをお使いください。
参照 「プリンタケーブル」（67 ページ）参照

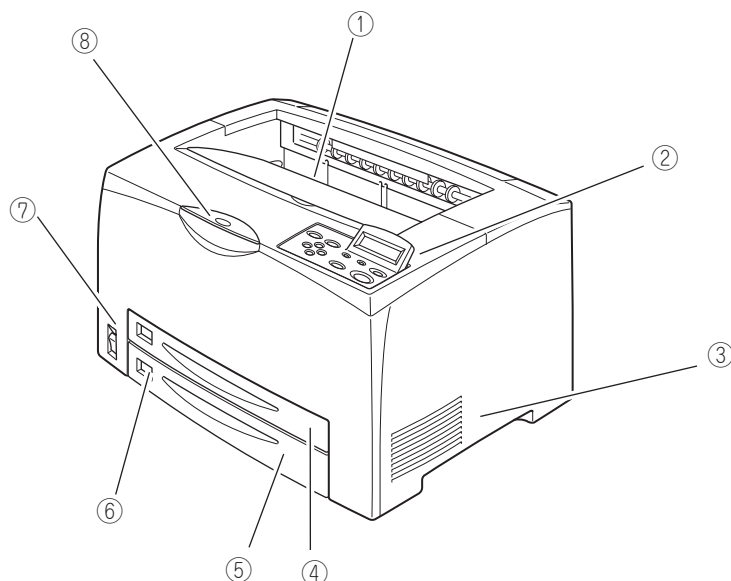
ガイド

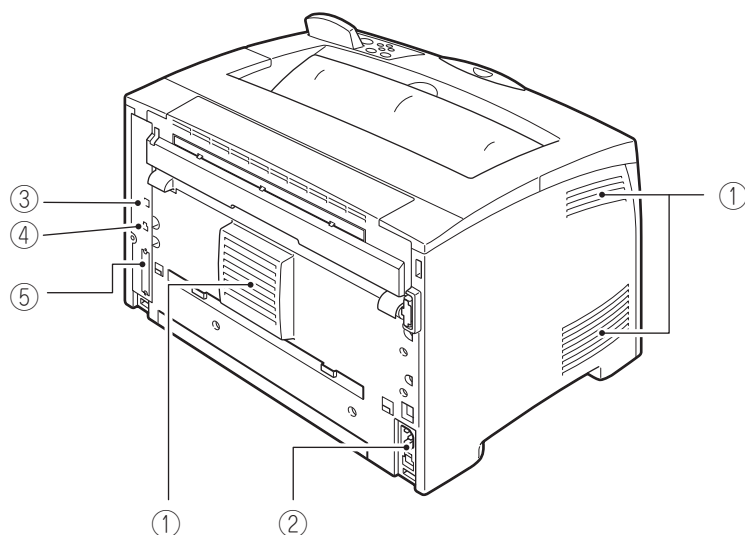
移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

各部の名称と機能

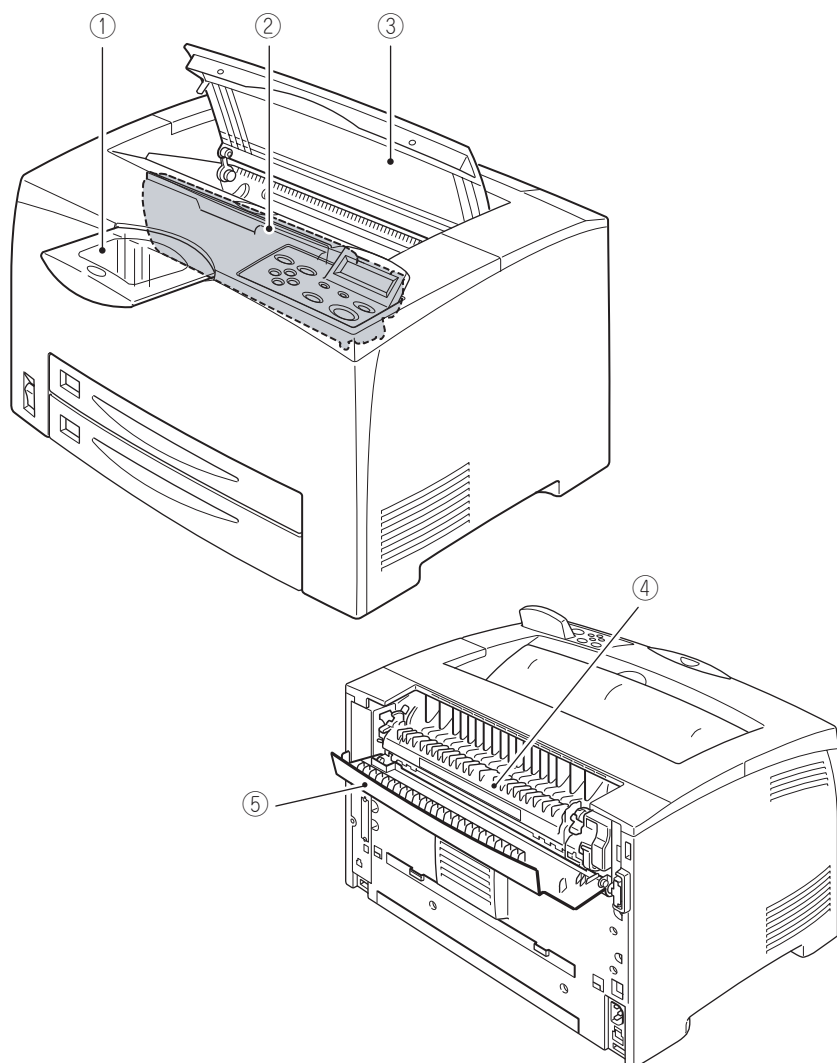
本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

●前面

①
⑧
②
⑦
③
⑥
⑤
④

①	排紙部	印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。
②	オペレータパネル	操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（113 ページ）
③	通風口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込んだり、排気したりします。通風口をふさがないでください。
④	MP カセット	はがき～ A3 サイズの用紙（普通紙）を 150 枚までセットします。 * 給紙トレイ（オプション）を購入した場合は、この位置に取り付けます。
⑤	給紙カセット	A5 ～ A3 サイズの用紙を、250 枚までセットします。
⑥	サイズ表示	必要に応じて、セットした用紙のサイズに合わせて、表示を変えられます。
⑦	電源スイッチ	電源を入／切します。
⑧	排紙トレイ	A4 サイズより大きな用紙を印刷するときに引き出します。

●背面

①	通風口	プリンタ内部の過熱を防ぐため、外気を取り込んだり、排気したりします。通風口をふさがないでください。
②	電源コードコネクタ	電源コードを差し込むコネクタです。
③	USB ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを USB ケーブルで接続するためのコネクタです。
④	LAN ケーブルコネクタ	プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
⑤	パラレルケーブルコネクタ	プリンタとパソコンをパラレルケーブルで接続するためのコネクタです。

●内部

①　②　③　④　⑤

①	排紙トレイ	A4 サイズより大きな用紙に印刷する場合に引き出します。排紙どめを立てて使用してください。
②	プロセスカートリッジ	感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。
③	上部カバー	プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。
④	定着器	用紙にトナーを定着させる機構です。プリンタ使用時は、高温になっているので手を触れないように注意してください。
⑤	背面カバー	つまった用紙を取り除くときに開きます。

添付ソフトウェア（CD-ROM）について

添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、パソコンから印刷するために必要なプリンタドライバやネットワークで使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが収録されています。
これらのソフトウェアは、Printianavi インストーラからインストールできます。Printianavi インストーラは、添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に起動します。

ガイド

・ Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。
・ CD-ROM に収録されているソフトウェアの詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」、および CD-ROM ドライブ直下にある「Readme.txt」を参照してください。

第2章

プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

設置上のお願い

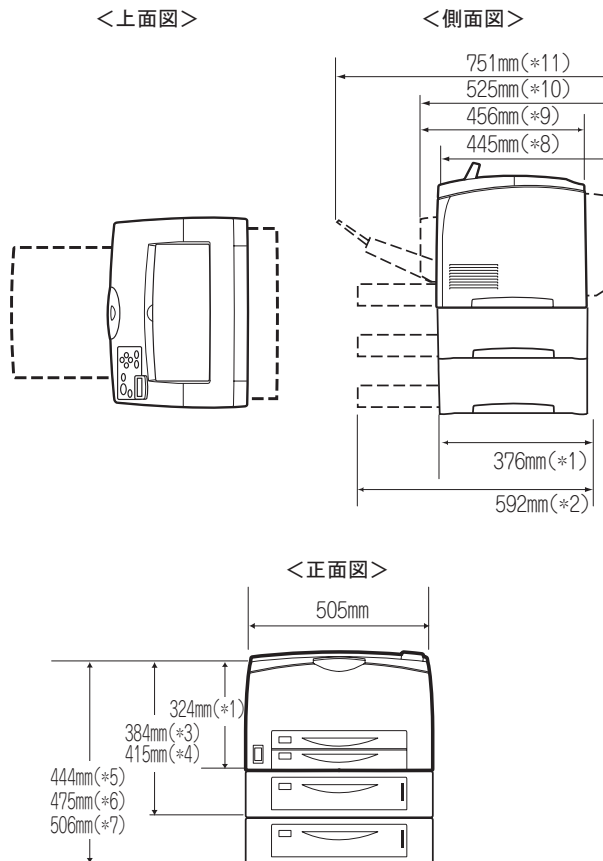
安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

・いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　　温度 :10 ～ 32 ℃　　湿度 :15 ～ 85%RH
　温度 32 ℃以上のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28 ℃以下でご使用ください。（ただし、結露しないこと。）
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
・サーバ接続などによりプリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
・プリンタを前後左右に 5°以上傾けないでください。
　トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
・プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
　斜行等により印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。
・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
　- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
　- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
　- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
・化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本プリンタを使用しないでください。故障の原因となります。
・プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

ー超音波加湿器をご使用のお客様へー
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

*1 :標準構成時
*2 :給紙カセット延長時
*3 :拡張給紙ユニット-A(250枚)を1段搭載時
*4 :拡張給紙ユニット-B(550枚)を1段搭載時
*5 :拡張給紙ユニット-A(250枚)を2段搭載時
*6 :拡張給紙ユニット-A(250枚)と拡張給紙ユニット-B(550枚)を搭載時
*7 :拡張給紙ユニット-B(550枚)を2段搭載時
*8 :両面ユニット搭載時
*9 :給紙トレイ搭載時
*10 :給紙トレイと両面ユニットを搭載時
*11 :給紙トレイ使用時

注意

火 災	プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。
参照	「安全上のご注意」（9 ページ）参照
け が	設置する台は、プリンタの足全体が十分に載る大きさのものを準備してください。

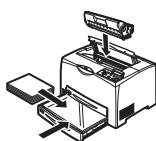
第2章 プリンタ本体の設置

プリンタの設置からインストールまで

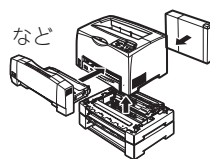
プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

プリンタ本体の設置

参照「第２章　プリンタ本体の設置」（33 ページ）参照

プリンタから印刷が行えるように、プリンタ本体の設置や用紙のセットを行います。

オプションの取り付け

参照「第３章　オプションの装着」（63 ページ）参照

- プリンタRAMモジュール
- 給紙トレイ
- 両面ユニット
- 拡張給紙ユニット など

ケーブルの接続

参照「ケーブルの接続」（56 ページ）参照

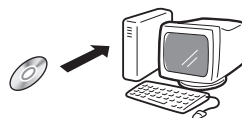
お使いの接続、運用形態にあわせてケーブルを接続します。

ワイヤクリップ
パラレルケーブル
USBケーブル
LANケーブル
コネクタ

ソフトウェアのインストール

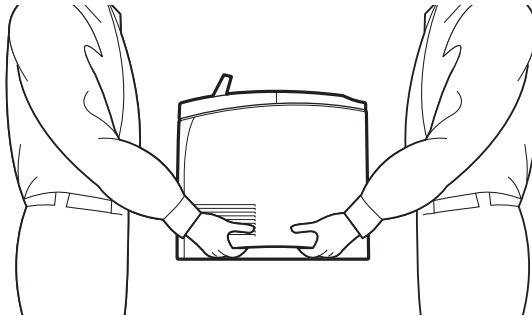
参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

お使いの接続、運用形態にあわせて必要なソフトウェアをインストールします。

※　CD-ROMをパソコンにセットしてください。

梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」（28 ページ）に記載してあります。

本体の取り出し

1. 梱包箱を開け、プロセスカートリッジを取り出す
2. ビニール袋を取り外す
3. プリンタの左右下部のくぼみを持ち、水平に保ちながら取り出す

お願い

本体は約 20kg の重さがあります。必ず 2 人以上の人数で図の取っ手を持ち、背中や腰を痛めないように注意して運んでください。
また本プリンタは前面側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬する場合は、重さの違いに注意してください。

4. 水平でしっかりした机などの上に静かに置く

固定テープ、保護シートの取り外し

プリンタ各部に貼られている固定テープおよび保護シートを取り外し、プリンタ内部の緩衝材を取り除きます。

オプション品の取り付け

お 願 い

以下のオプション品は、プロセスカートリッジや用紙を取り付ける前に、プリンタ本体に取り付けてください。
・ プリンタ RAM モジュール
・ 給紙トレイ
・ 両面ユニット
・ 拡張給紙ユニット

各オプション品の取り付けは、第 3 章の目的の項目を参照してください。

参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」(69 ページ)参照
参照 「給紙トレイの取り付けかた」(74 ページ)参照
参照 「両面ユニットの取り付けかた」(76 ページ)参照
参照 「拡張給紙ユニットの取り付けかた」(80 ページ)参照

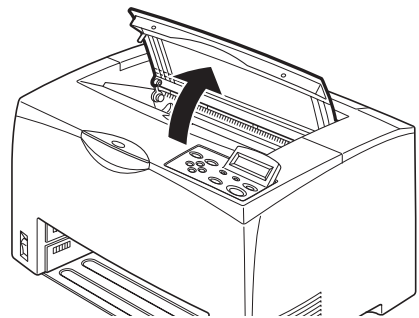
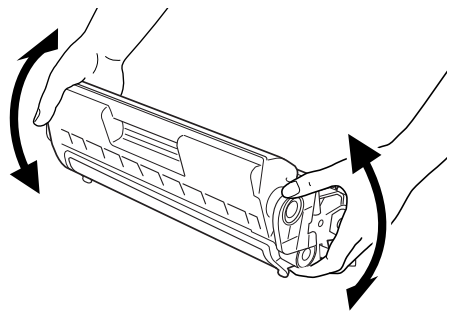
プロセスカートリッジの取り付け

次の手順で、プロセスカートリッジを取り付けます。

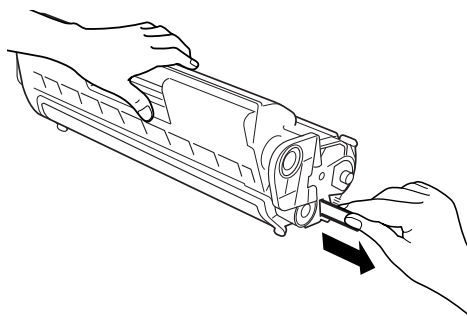
お願い

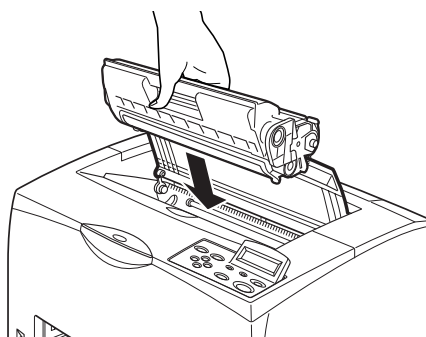
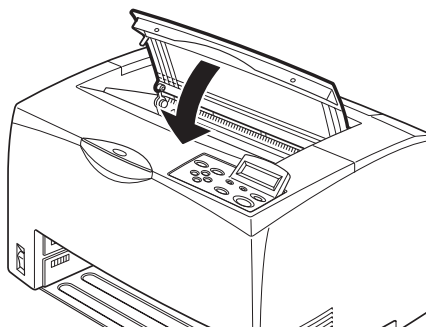
- 直射日光や強い光に当てないでください。
- プロセスカートリッジの取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- 感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。

注意	故　障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

1 上部カバーを開く

2 プロセスカートリッジを梱包袋から取り出し、図のように 7 ～ 8 回振る

3 トナーシールを引き抜く

お願い

- トナーシールを引き抜くときは、プロセスカートリッジを平らな場所に置き、トナーシールを水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。トナーシールの全長は、約67cmです。
- トナーシールを引き抜いたあとは、プロセスカートリッジを振ったり、プロセスカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

4 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入する

取っ手を下に押し、所定の位置にセットしてください。（手応えがあります。）

5 上部カバーを閉じる

電源の投入

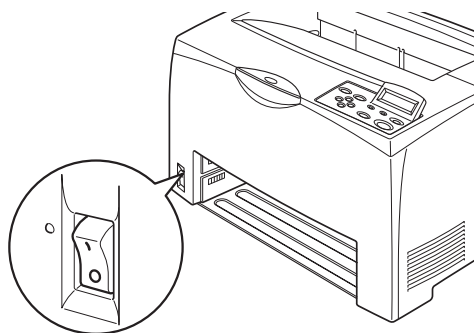
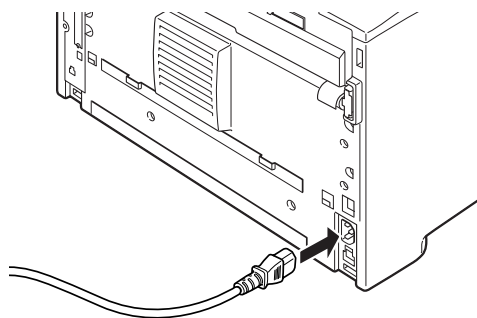
電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードを接続する

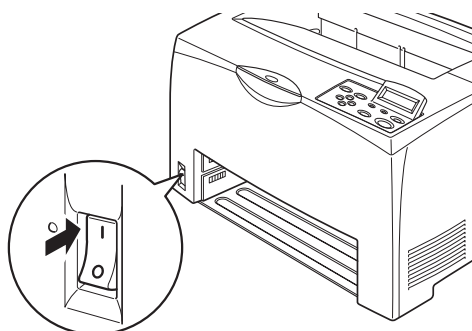
次の手順で、電源コードを接続します。
本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

警告

感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります。） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）
感　電	プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタを載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

1. スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する

2 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む

3 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れる

プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「オンライン」「リンク」「データ」「エラー」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

```
XL－XXXX
Ver  XX. XX     YYYMB
```

ファームウェアのバージョン、メモリの総容量を示します。

↓

```
ファーム ロードﾞチュウ
 ××××××××××××
```

ファームロード中を示します。
下段にMACアドレスを表示します。

↓

初期化動作およびファームロード動作に12秒程度かかりますので、そのままお待ちください。

```
オンライン
```

※カセットが未装着の場合、下段に「カセットカクニン」と表示されます。

参照　オペレータパネルが上記の表示にならないときは、
「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット

ここでは、給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする手順について説明します。

お願い

- 長尺紙は、MP カセット、給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。オプションの給紙トレイを装着して印刷してください。

  参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。
- 給紙カセット、MP カセットは、必ずフタを閉めてご使用ください。フタを閉めずに使用した場合、給紙カセット、MP カセットの出し入れに支障をきたすことがあります。

ガイド

異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。

A4 サイズまでの用紙をセットする

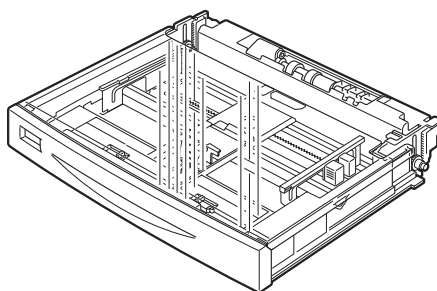
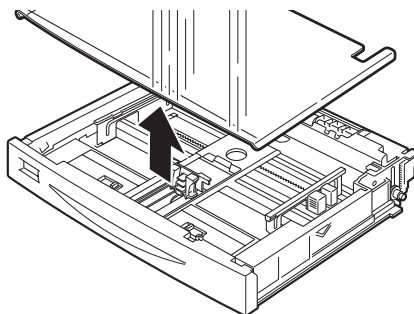
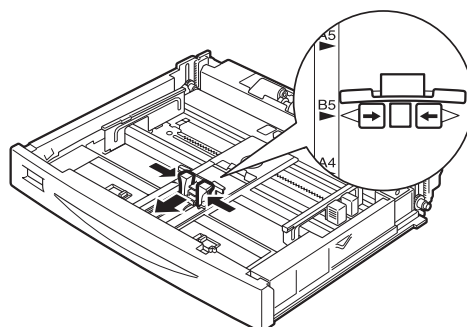
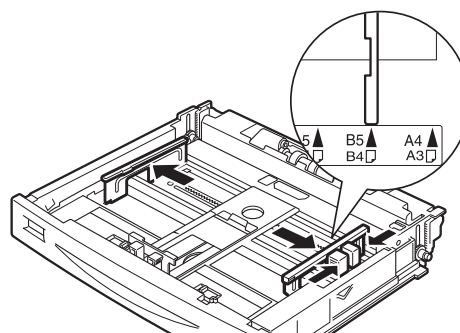
ここでは、B5 サイズの用紙を給紙カセットにセットする手順を例に説明します。

ガイド

MP カセットおよび拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も給紙カセットと同じ手順でセットできます。

1 給紙カセットを平らな場所に置く

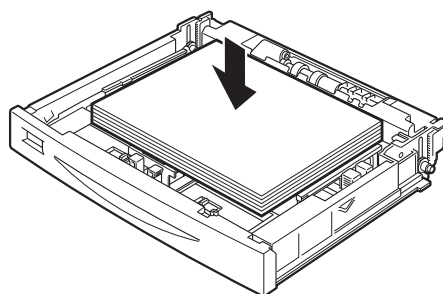
ガイド

給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。
上斜め方向に持ち上げながら引っぱると、スムースに引き抜けます。

2 カセットのフタを取る

3 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

4 右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

5 紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットする

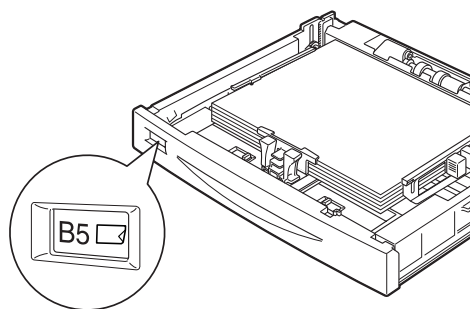
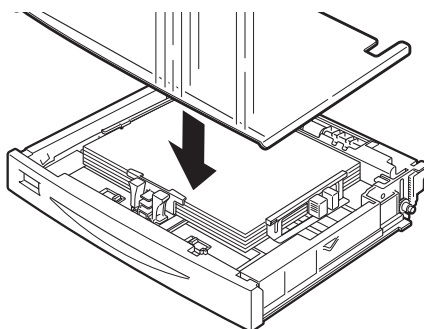
横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

ガイド

- 給紙カセットに収容できる枚数は、約250枚（64g/m^2 の場合）です。
- 550 枚収容できる給紙カセットに少数枚の用紙をセ ットした場合、用紙がたわむことがあります。異常ではありませんので、そのままお使いください。

6 セットした用紙に合わせて、表示を差し替える

用紙の向きは、用紙の短辺が横になるようにセットしたときが「縦」、用紙の長辺が横になるようにセットしたときが「横」になります。

7 給紙カセットのフタを閉める

8 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込む

お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

MP カセットにはがきをセットする

ここでは、MP カセットにはがきをセットする手順について説明します。

ガイド

MP カセットからはがきに印刷する場合、用紙をセットした後に、オペレータパネルの設定が必要になります。

1 MP カセットにはがきをセットする

参照 「A4 サイズまでの用紙をセットする」(44 ページ) 参照

ガイド

MP カセットにはがきをセットする手順は、給紙カセットに用紙をセットする手順と同じです。

2 オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

メニュー
▶システム　　インサツ　▼

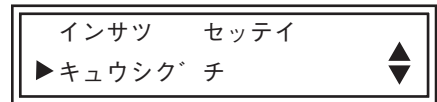
3 「▶」スイッチを 2 回押して「インサツ　セッテイ」を表示する

↓「▶」を2回押す

メニュー
▶インサツ　　セッテイ　▼

4 「▼」スイッチを押して「キュウシグチ」と表示する

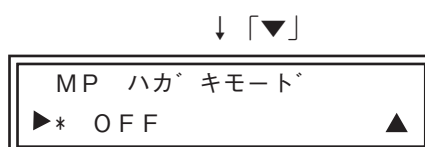
↓「▼」

インサツ　　セッテイ
▶キュウシグ゛チ　▲▼

5 「▶」スイッチを 2 回押して「MP ハガキモード」と表示する

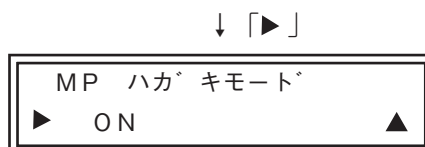
↓「▶」を2回押す

インサツ　　セッテイ
▶MP　ハガ゛キモート゛　▲

6 「▼」スイッチを押して「*OFF」と表示した後「▶」を押して「ON」を表示する

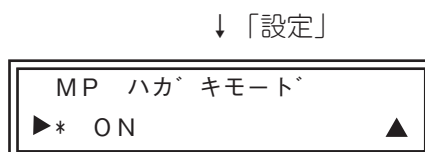
↓「▼」

MP　ハガ゛キモード゛
▶* OFF ▲

7 「ON」と表されているのを確認し、「設定」スイッチを押す

↓「▶」

MP　ハガ゛キモード゛
▶ ON ▲

8 設定が終わったら、「オンライン」スイッチを押し、MP ハガキモードを有効にする

↓「設定」

MP　ハガ゛キモード゛
▶* ON ▲

MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする

ここでは、MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする手順について説明します。

ガイド

初めてMPカセットにA5サイズの用紙をセットする場合は、手順 1 のみを行ってください。

1 MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする

参照 「A4 サイズまでの用紙をセットする」(44 ページ）参照

ガイド

MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする手順は、給紙カセットに用紙をセットする手順と同じです。

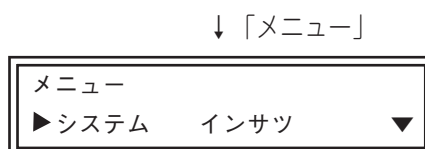
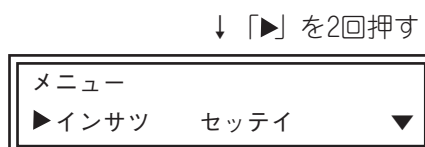
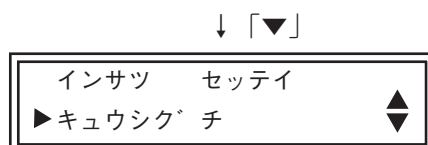
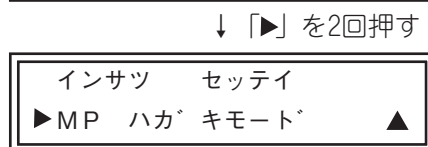
2 オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

メニュー
▶システム　インサツ ▼

3 「▶」スイッチを 2 回押して「インサツ　セッテイ」を表示する

↓「▶」を2回押す

メニュー
▶インサツ　セッテイ ▼

4 「▼」スイッチを押して「キュウシグチ」と表示する

5 「▶」スイッチを2回押して「MPハガキモード」と表示する

6 「▼」スイッチを押して「*OFF」と表示されていることを確認し、「設定」スイッチを押す

7 「オンライン」スイッチを押す

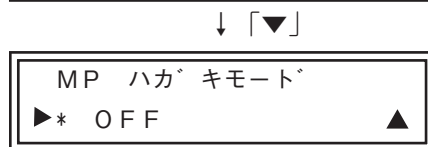
↓「▼」

インサツ　セッテイ
▶キュウシグ゛チ

↓「▶」を2回押す

インサツ　セッテイ
▶MP　ハガ゛キモード゛

↓「▼」

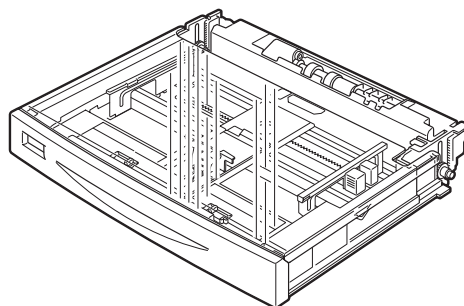
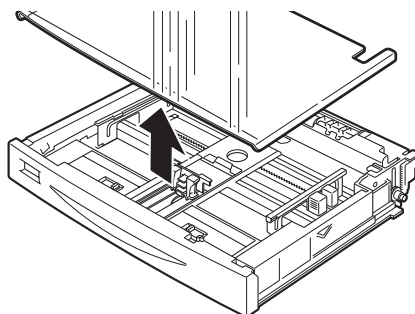
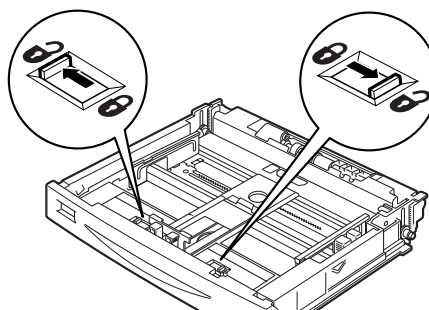
MP　ハガ゛キモード゛
▶＊　OFF

↓「設定」

A4サイズより大きい用紙をセットする

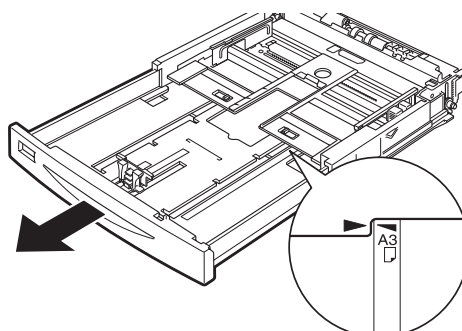
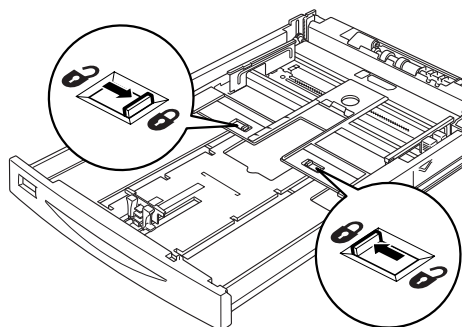
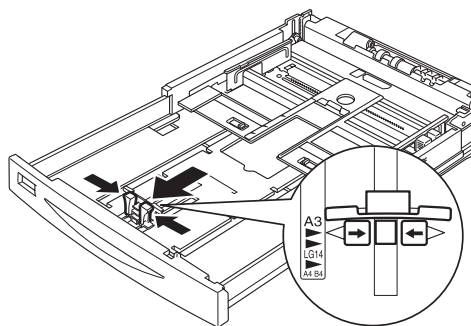
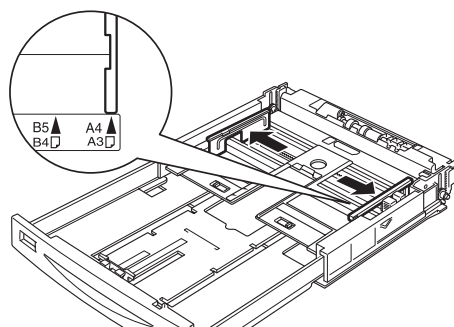
ここでは、A3サイズの用紙を給紙カセットにセットする手順について説明します。

ガイド
MPカセットおよび拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も給紙カセットと同じ手順でセットできます。

1 給紙カセットを平らな場所に置く

ガイド
給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。
上斜め方向に持ち上げながら引っぱると、スムースに引き抜けます。

2 カセットのフタを取る

3 カセットの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除する

4 カセットの持ち手部分を持って、延長部を用紙サイズまで手前に引き出す

ガイド

不定形用紙をセットする場合は、用紙サイズの長さに合わせて、適切なロック位置で延長部を固定してください。用紙サイズに合わせて、縦ガイド / 横ガイドを調整してください。

5 カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックする

6 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

7 右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

8 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットする

横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

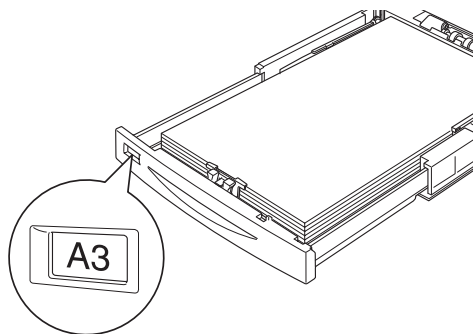
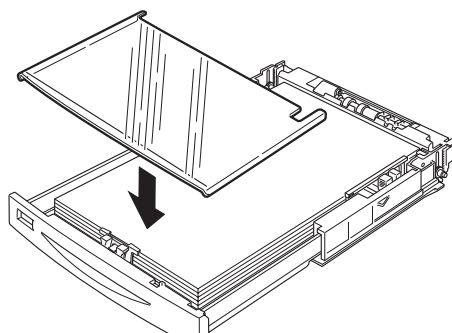
お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約 250 枚（64g/m^2 の場合）です。

9 セットした用紙に合わせて、表示を差し替える

A3

10 給紙カセットのフタを閉める

11 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込む

お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

オプションの給紙トレイに用紙をセットする

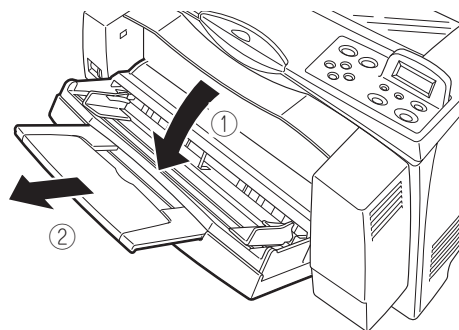
ここでは、オプションの給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

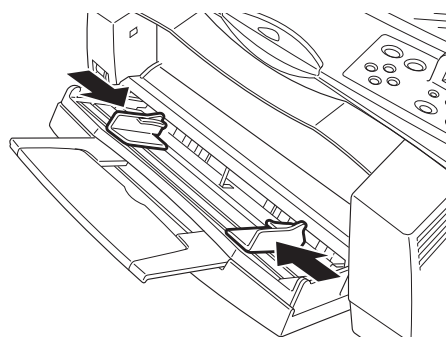
参照 給紙トレイの取り付け方は、「給紙トレイを取り付ける」(74 ページ)参照

お願い

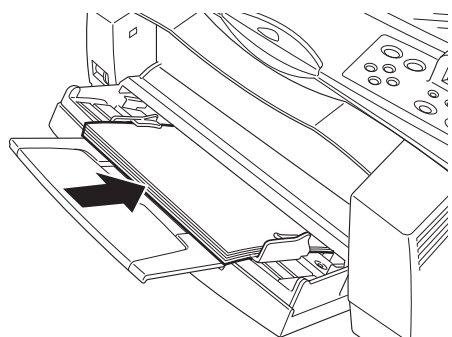
給紙トレイに用紙をセットする場合、電源を入れてからセットしてください。

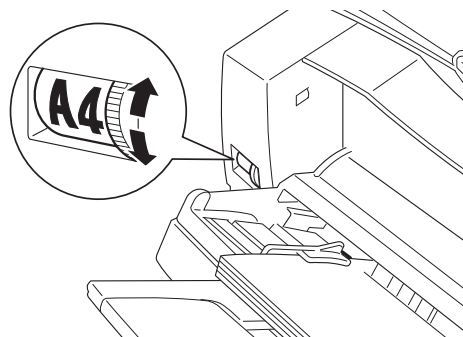
1 用紙セット部を開く（①）

長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します（②）。トレイの長さが足りないときには、さらに拡張延長トレイを開けます。

2 サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせる

サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる

お願い

- 反り、しわ、折り目の入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

4 給紙トレイのサイズ設定スイッチを、セットする用紙のサイズと向きに合わせる

該当するサイズや向きがない場合は、サイズ設定スイッチを「パネルで設定」に合わせ、オペレータパネルで設定してください。

設定一覧の印刷

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

- オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
- オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
- オペレータパネルに「セツデン」と表示されている

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

```
メニュー
▶システム　　インサツ　　　▼
```

3 「▼」スイッチを押す

↓「▼」

```
　システム　　インサツ
▶セッテイ　ノ　インサツ　　▲
```

4 「設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

↓「設定」

印刷開始

5 印刷状態を確認する

参照　正常に印刷されないときは、「第 7 章　こんなときには」（151 ページ）参照

↓

印刷終了

↓

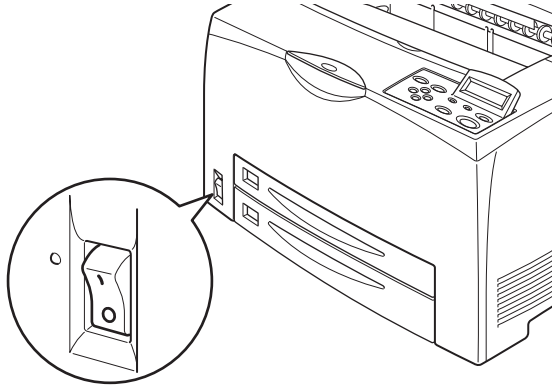
```
　システム　　インサツ
▶セッテイ　ノ　インサツ　　▲
```

6 「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

↓「メニュー」を押す

```
オンライン
```

電源の切断

電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「○」側）に倒します。

電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

参照 「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照 パソコンとパラレルケーブルで接続するには
「パラレルケーブルの接続」（57 ページ）参照

参照 パソコンと USB ケーブルで接続するには
「USB ケーブルの接続」（59 ページ）参照

参照 LAN ケーブルで接続するには
「LAN ケーブルの接続」（60 ページ）参照

ケーブルの接続

お使いの接続、運用形態にあわせ、プリンタにケーブルを接続します。

ガイド

- 接続、運用形態は、お使いの環境に合わせて以下を目安に選択してください。
  - パラレルケーブル /USB ケーブルで接続
    １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
    より速く印刷したい場合は、USB ケーブルによる接続をおすすめします。
  - LAN ケーブルで接続
    プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
    LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
- サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本プリンタは、パラレル／ＵＳＢ／ＬＡＮのケーブルを同時に接続することができます。

参照「複数のポートに同時接続するときの注意事項」（62 ページ）参照

パラレルケーブルの接続

パラレルケーブルをプリンタに接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
　双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
・OS
　Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

警告
感　電　パラレルケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

注意
故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因になることがあります。

お願い

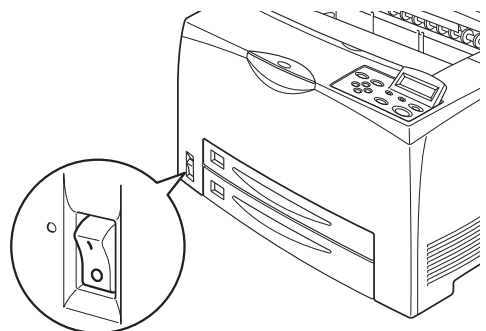
パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。

ガイド

本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

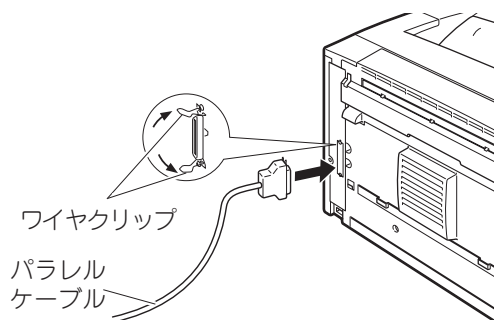
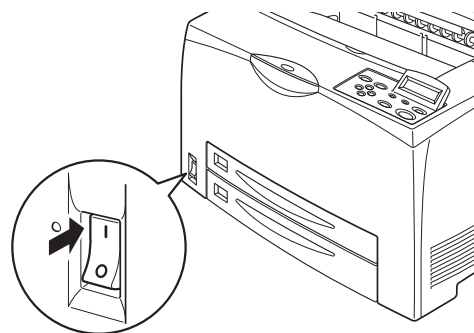
参照 「プリンタケーブル」(67 ページ) 参照

1 **電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切断する**

パソコンの電源も切断してください。

2 **パラレルケーブルをプリンタ背面にあるパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定する**

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

ワイヤクリップ

パラレルケーブル

3 **電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる**

4 **パソコンの電源を入れ、Windows を起動する**

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、パラレル接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

USB ケーブルの接続

USB ケーブルをプリンタに接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
USB インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

お願い

・Windows 3.1/95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
・Windows 95/NT4.0 では動作しません。
・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。

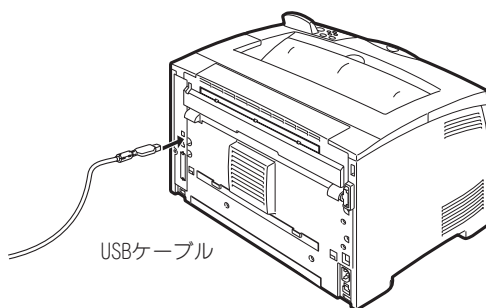
ガイド

・USB2.0 でお使いになるにはパソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
・USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
参照「プリンタケーブル」（67 ページ）参照

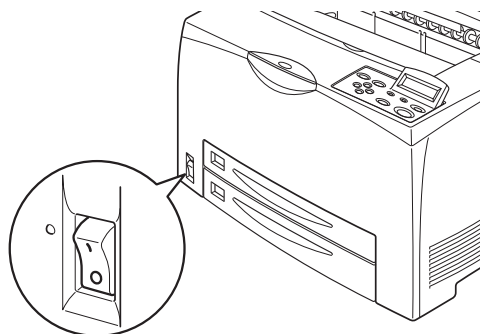
1 USB ケーブルをプリンタ背面にある USB ケーブルコネクタに差し込む

2 パソコンに USB ケーブルを接続する

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、USB 接続時のプリンタドライバのインストール方法の説明を参照してください。

USBケーブル

LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。
また、次ページの「LAN に接続するときの注意事項」もあわせてお読みください。

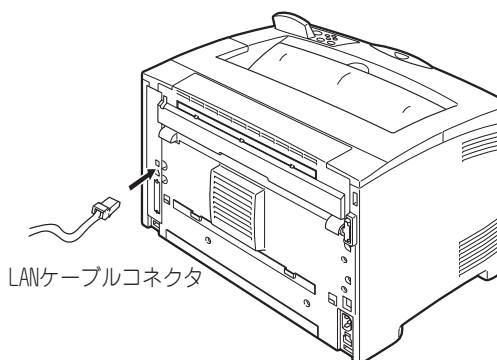
1 プリンタの電源の切断（電源スイッチが「○」側）を確認する

2 プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに LAN ケーブルを接続し、電源を入れる

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、ネットワーク接続時の設定方法の説明を参照してください。

LANケーブルコネクタ

ガイド

LAN ケーブルで接続した場合は、プリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレスは、添付の CD-ROM に納められたソフトウェアから設定可能ですが、オペレータパネルからプリンタ本体で直接設定することもできます。

参照 オペレータパネルで IP アドレスを設定する方法は、「ＩＰ アドレスの設定」（133 ページ）参照

LANに接続するときの注意事項

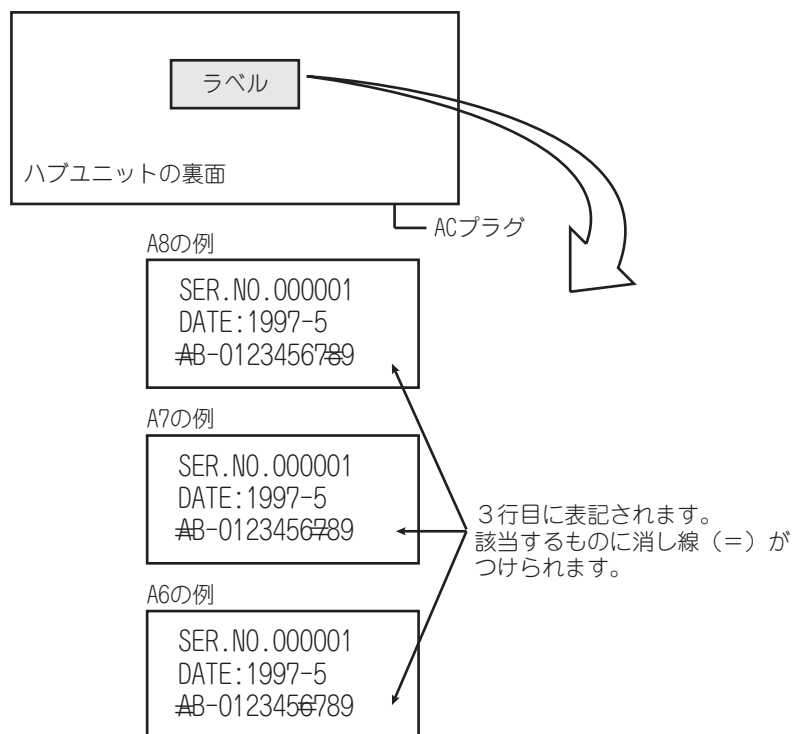
・LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの［初期設定］－［LAN 設定］にある「Ethernet タイプ」で変更します。本製品の「10Mbps」は、「Half」です。

参照　メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119 ページ）参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
- ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

第2章　プリンタ本体の設置

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・Printianavi および Printianavi ネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
・使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

お願い

印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

参照　ポートの切り替え時間については、「第 5 章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」の「ポート設定」の「タイムアウト時間」（124 ページ）参照

第３章
オプションの装着

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、給紙トレイ、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

給紙トレイ

品名	型名	内容
給紙トレイ	XL-FT10W1 /XL-FT10W1G	1 段目のマルチユニットにセットして使用します。積載可能枚数は約100 枚(64g/ ㎡の用紙の場合)です。用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合、および長尺紙に印刷する場合は、給紙トレイをご使用ください。なお、給紙トレイとMPカセットを同時に取り付けることはできません。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25W1 /XL-EF25W1G	3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。積載可能枚数は約250 枚(64g/ ㎡の用紙の場合)です。(LB315　給紙カセット(A3 ユニバーサル)添付)
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55W1 /XL-EF55W1G	3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。積載可能枚数は約550 枚(64g/ ㎡の用紙の場合)です。(LB315　給紙カセット (550 枚) A3U 添付)

●形態

*1：MPカセットを使用した場合
*2：給紙トレイ（オプション）を使用した場合

ガイド

- 異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、用紙が走行していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPW1 /XL-DUPW1G	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

プリンタ RAM モジュール

本プリンタには、次のプリンタ RAM モジュールを搭載することができます。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256M5 /XL-EM256MA	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより、サポートするすべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。

参照 印刷保証範囲については、「プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲」（66 ページ）参照

●プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

搭載されている RAM の容量によって、印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を次の表に示します。

	64MB（プリンタ RAM モジュールなし）						320MB（プリンタ RAM モジュールあり [256MB]）					
用紙サイズ/解像度	片面			両面			片面			両面		
	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi
A3	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Legal	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Letter	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	◎	―	―	―	◎	◎	◎	―	―	―
ユーザ定義サイズ	◎	◎	◎	―	―	―	◎	◎	◎	―	―	―
長尺紙	◎	―	―	―	―	―	◎	―	―	―	―	―

◎： どんなデータも確実に印刷できます。
○： データの内容によって印刷できない場合があります。（プロテクトモード使用時は印刷できません。）
―： 本設定では印刷できません。
解像度、プロテクトモード： プリンタドライバで設定します。

参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

ガイド

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

お願い

以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
パラレルケーブル：1.5m 以下
USB ケーブル：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

●パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY/GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

● USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/ Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

警告

感　電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

注意

け　が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因になることがあります。

お願い

オプション品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず電源を切った状態で作業してください。

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

警告

感　電　プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

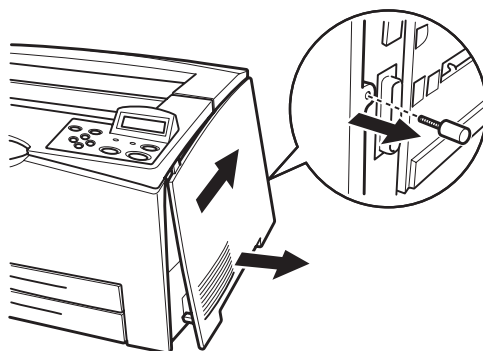
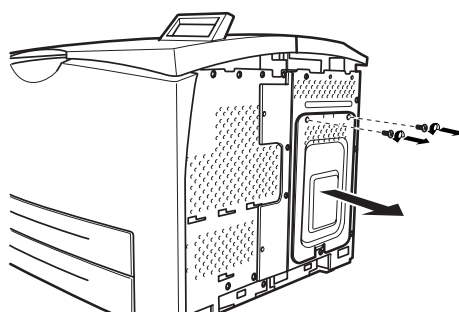
プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

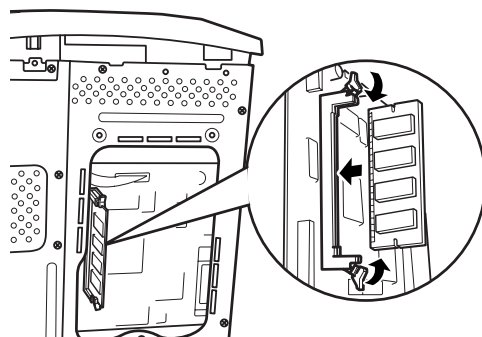
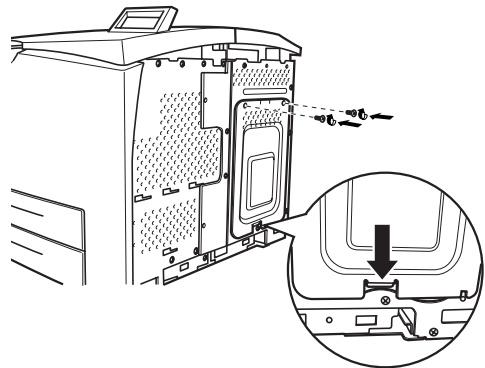
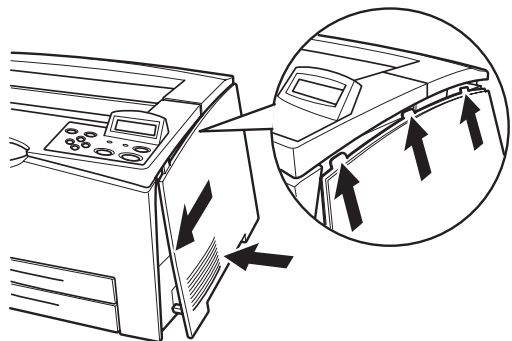
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 サイドカバーを外す

背面のネジを外したあと、サイドカバーを本体に沿って後側へスライドさせてサイドカバーの下部を外側にずらすようにして外します。

3 ネジ 2 か所をドライバーを使って外し、パネルを外す

4 コネクタ両端のレバーを開き、プリンタ RAM モジュールの向きに注意し、コネクタの溝に合わせてゆっくりと差し込む

お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

5 パネル下部の突起部をプリンタ内部に入れてから、ネジ（2 本）で固定する

6 下側のツメをプリンタ本体の穴に差し込んでからプリンタ本体に沿って前側にスライドさせて、サイドカバーを取り付ける

ガイド

プリンタ RAM モジュールを増設したときは、電源を投入した直後にオペレータパネルの液晶ディスプレイの下段に表示される「YYYMB」でメモリの総容量を確認します。メモリを増設したときは「320MB」と表示されます。

```
XL−XXXX
Ver  XX. XX    YYYMB
```

お願い

- プリンタRAMモジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

  参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

- はじめてプリンタ RAM モジュールを増設した場合は、動作に問題がないか、次ページの操作で確認してください。

プリンタ RAM モジュールをチェックする

次の操作でプリンタ RAM モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認します。

1 電源スイッチがオフ（○側）であることを確認する

2 オペレータパネルの「リセット」スイッチを押しながら、電源スイッチをオン（「｜」側）に倒して電源を入れる

RAM モジュールのチェックが開始されます。

ガイド

- 「RAM 1　チェック」と表示されたら、「リセット」スイッチを放しても構いません。
- オプション RAM モジュール未装着時は、「RAM 2　チェック」は表示されません。

↓

RAM1　チェック　　00%

↓

標準RAMのチェック開始

↓

RAM2　チェック　　00%

↓

オプションRAMモジュールのチェック開始

3 エラーメッセージが出ないことを確認する

「オンライン」が表示されれば、RAM モジュールに問題はありません。

参照　オペレータパネルが「オンライン」表示にならないときは、「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

↓

RAMモジュールのチェック終了

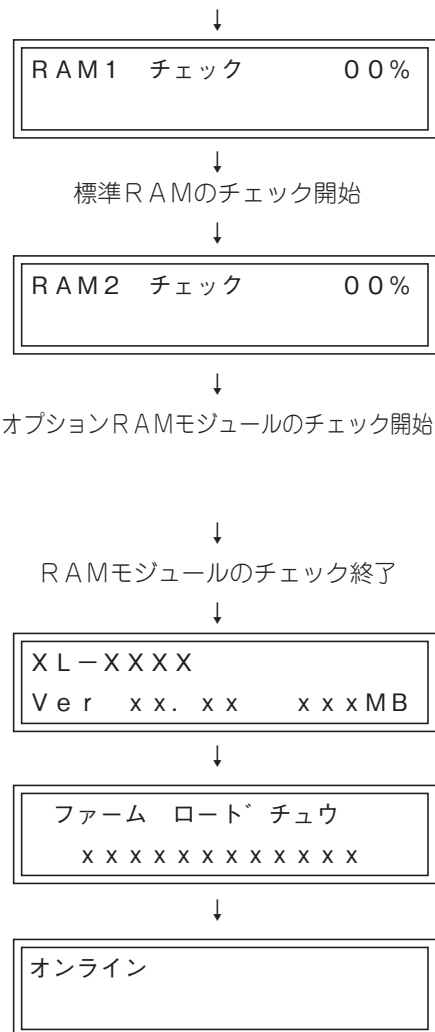
↓

XL−XXXX Ver　xx.xx　　xxxMB

↓

ファーム　ロード゛チュウ xxxxxxxxxxxx

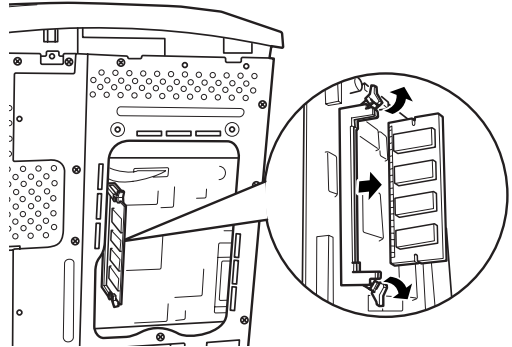
↓

オンライン

プリンタ RAM モジュールを取り外す

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 左右のレバーを指で開き、手前に引き抜く

参照　サイドカバー、オプションパネルの外しかたや取り付けかたは、「プリンタRAMモジュールを取り付ける」（70 ページ）参照

給紙トレイの取り付けかた

オプションの給紙トレイをプリンタに取り付けると、手差し印刷ができるようになります。

警告	感　電	給紙トレイを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

給紙トレイを取り付ける

給紙トレイは、次の手順で取り付けます。

ガイド

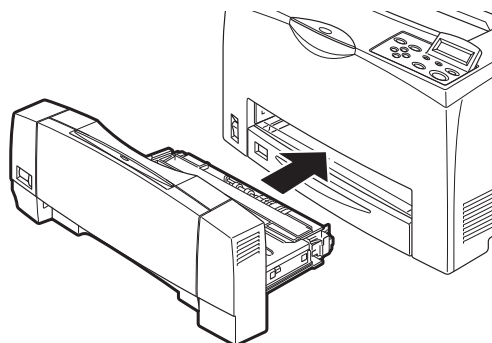
給紙トレイと MP カセットを同時に取り付けることはできません。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 給紙トレイをプリンタの奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

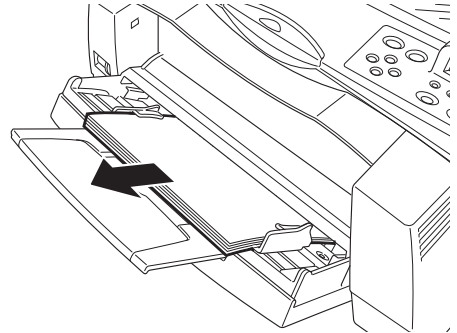
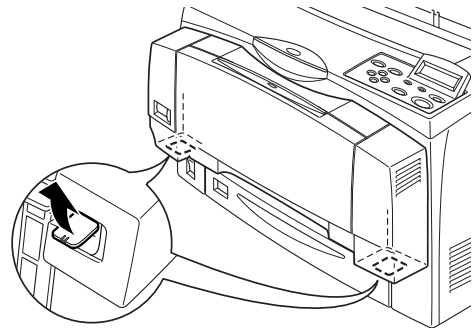
お願い

- 給紙トレイ下部のユニット部分が奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。
- 給紙トレイが正しく取り付けられていないと、給紙トレイが認識されず、電源投入後にオペレータパネルに「MP カクニン」と表示されます。この場合、プリンタの電源を切り、給紙トレイを正しく取り付けてください。

給紙トレイを取り外す

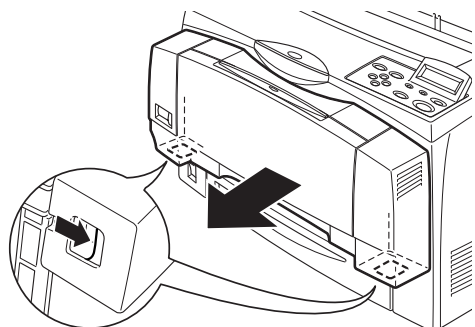
給紙トレイは、次の手順で取り外します。

1 **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

2 **給紙トレイに用紙がセットされているときは用紙を取り出し、用紙セット部を閉じる**

3 **給紙トレイ下部の左右にあるカバーを外す**

4 **給紙トレイの左右裏側にあるレバーを広げ、手前に引き抜く**

お願い

プリンタを使用する場合、マルチユニットに、MP カセットまたは給紙トレイのいずれかを装着してください。

両面ユニットの取り付けかた

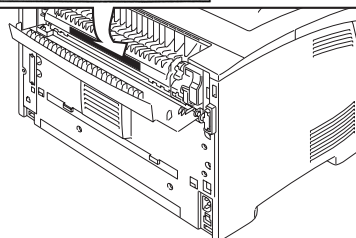
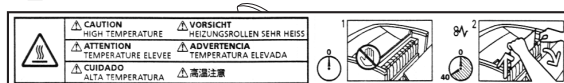
オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。
A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

⚠ 警告

感　電　両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意

やけど　「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因になることがあります。

警告ラベル

両面ユニットを取り付ける

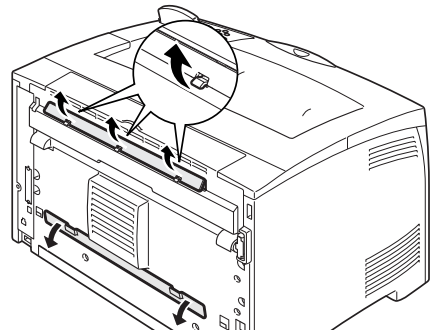
両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

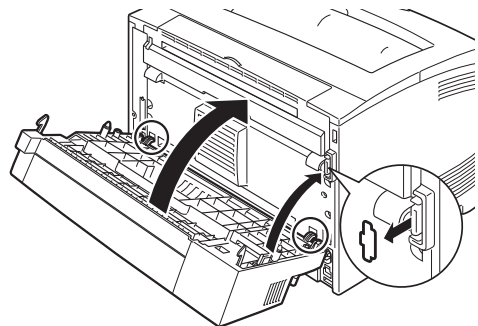
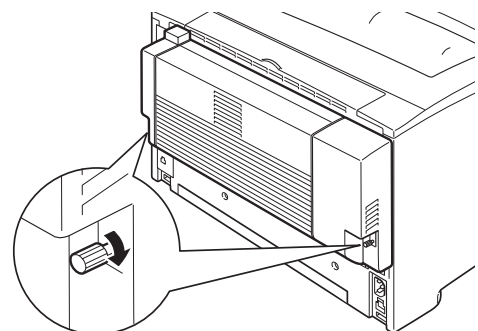
1. **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

   プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
   パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2. **プリンタ背面にある両面ユニット取り付け用カバー（2 か所）を外す**

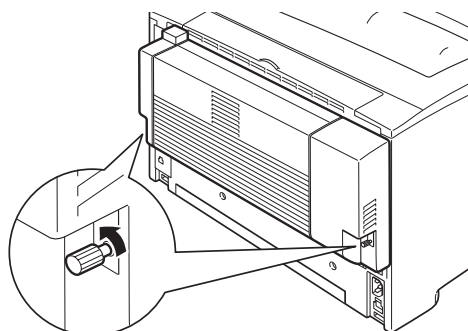
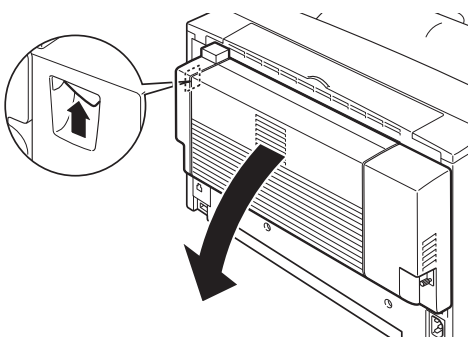
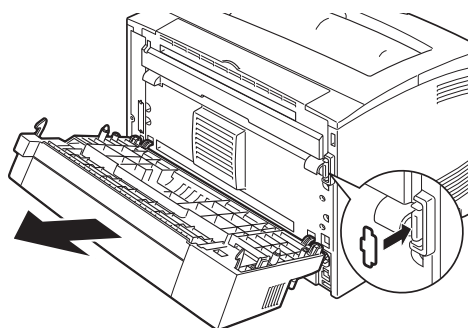
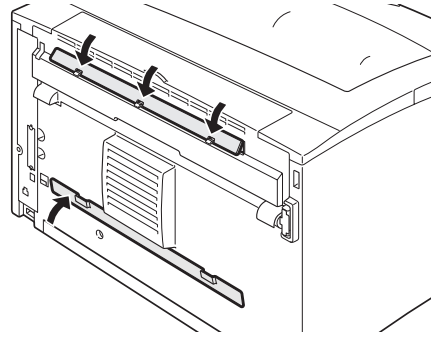
   お願い

   取り外したカバーは、両面ユニットを取り外す際に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。

3. **両面ユニットを取り付ける**

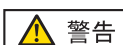
   背面右上にある両面ユニット用のコネクタカバーを外し、突起部（2 か所）をプリンタ背面の穴（2 か所）に合わせて取り付けます。

4. **両面ユニットに添付しているネジで、両面ユニットの左右 2 か所を固定する**

両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1. **プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す**
   両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、および LAN ケーブルを外します。

2. **両面ユニット左右 2 か所のネジをゆるめる**

3. **両面ユニットを手で支えながら左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニットの上部をプリンタから外す**

4. **両面ユニットを持ち上げるようにしながら、両面ユニット左右の突起部をプリンタ背面の穴から外し、両面ユニット用のコネクタカバーを取り付ける**

5 両面ユニット取り付け時に外して保管しておいたカバーを、プリンタ背面（2 か所）にカチッと音がするまで押し込む

拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット -A（A3 ユニバーサル・250 枚）と拡張給紙ユニット -B（A3 ユニバーサル・550 枚）があります。プリンタへの取り付け / 取り外しかたや用紙のセットのしかたは、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。
本製品には、最大 2 段まで取り付けることができます。

参照 拡張給紙ユニットの取り付け形態については、「オプション品のご紹介」（64 ページ）参照

警告

感　電	拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

注意

故　障	拡張給紙ユニットは、本製品用の製品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になることがあります。 ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

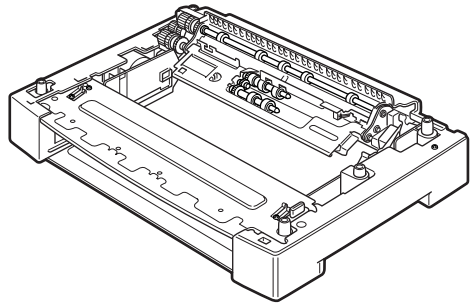
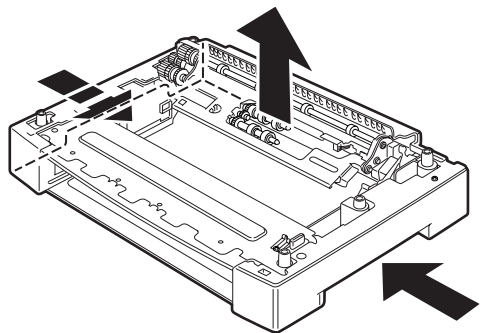
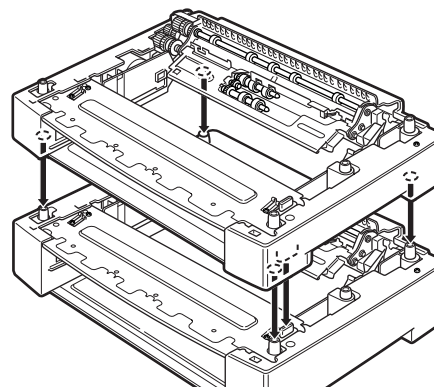
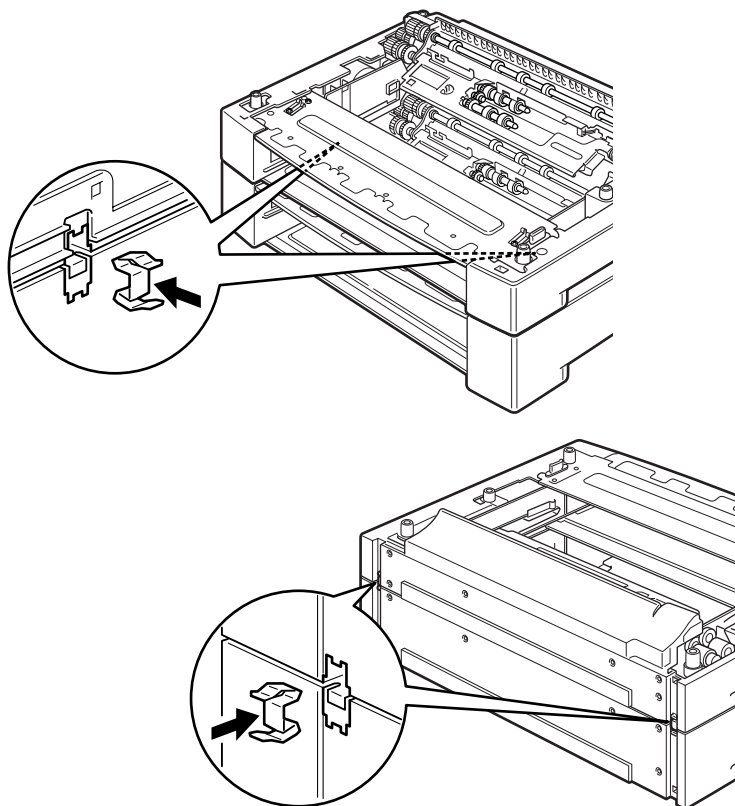
拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

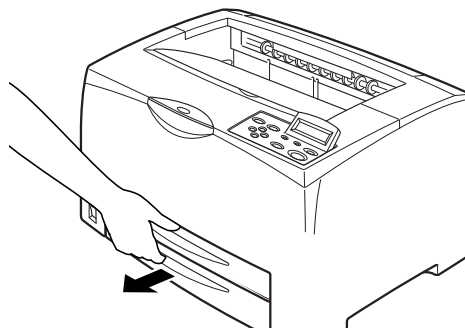
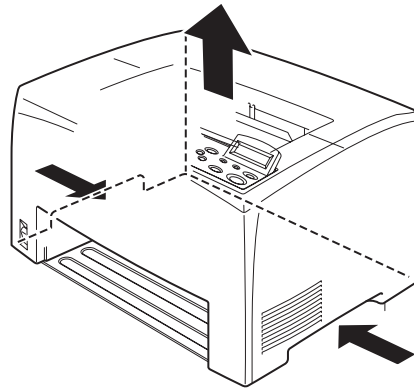
1. **プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す**
   プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
   パラレルケーブル、LAN ケーブルおよび USB ケーブルを外します。

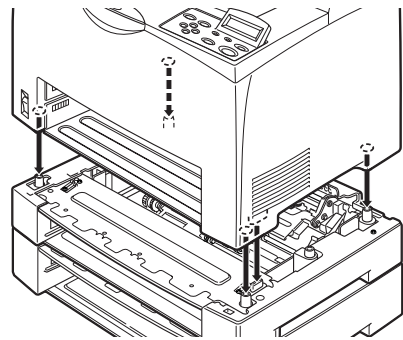
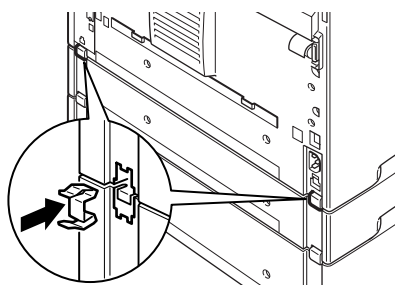
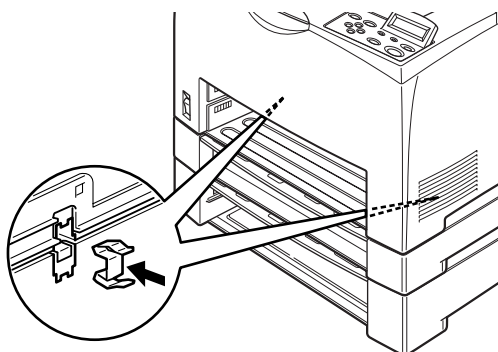
2. **下段に取り付ける拡張給紙ユニットを平らな場所に置く**

お願い

取り付ける拡張給紙ユニットが 1 段しかない場合は、6 へ進んでください。

3. **上段に取り付ける拡張給紙ユニットの横を持って、持ち上げる**

4. **上下の拡張給紙ユニットの前面と後面の角を合わせる**
   下段の給紙ユニットの四隅にあるガイドピンが、上の拡張給紙ユニットの底面にある穴に入るようにしてください。

5 拡張給紙ユニットの内部2か所、後部2か所の差し込み部に添付の固定クリップを押し込み、拡張給紙ユニットどうしを固定する

お願い

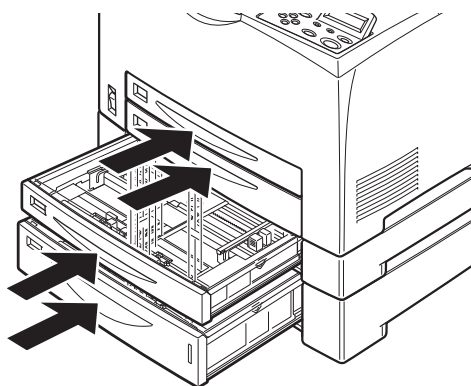
拡張給紙ユニットを 2 段以上設置する場合は、拡張給紙ユニットどうしをしっかりと取り付けてから、プリンタ本体と接続してください。

6 プリンタ本体に取り付けられているカセットを引き抜く

7 プリンタ下部のくぼみを持ち、プリンタを持ち上げる

8 プリンタを拡張給紙ユニットの上にゆっくりおろす

プリンタと拡張給紙ユニットの角を合わせます。次に給紙ユニットの四隅にあるガイドピンをプリンタ底面の穴に入れます。

9 プリンタの内部 2 か所、後部 2 か所の差し込み部に添付の固定クリップを押し込み本体と拡張給紙ユニットを固定する

10 プリンタ本体から取り外したカセットと拡張給紙ユニットのカセットを、奥に突き当たるまで押し込む

お願い

拡張給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバで装置オプションの設定を行ってください。

参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1. **プリンタの電源を切り、ケーブルを外す**

   プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
   パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2. **取り付けと逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外す**

運　用　編

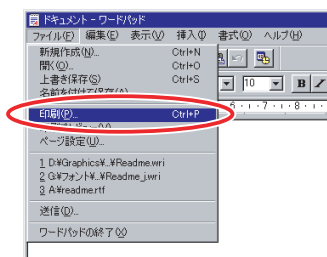
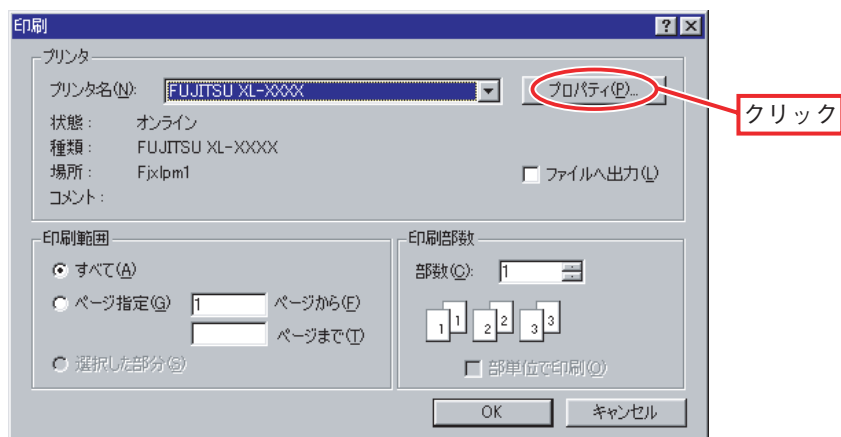
第４章
日常の操作

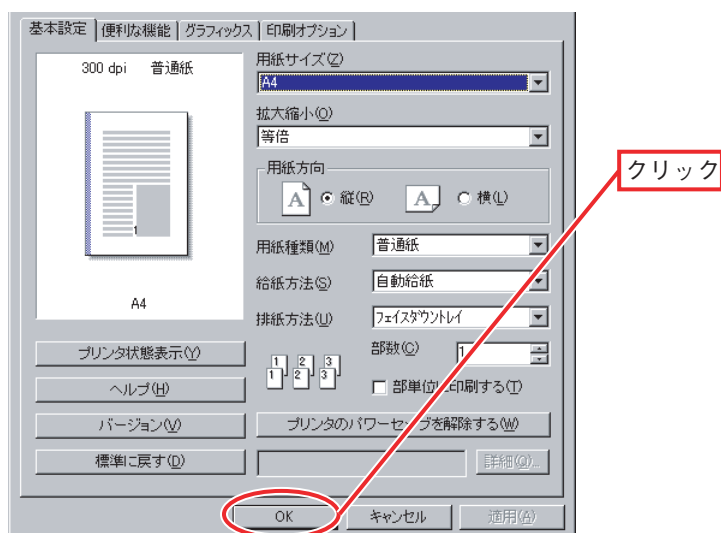
この章では、本プリンタで印刷するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1 ワードパッドでデータを作成する

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

3 プリンタが正しく選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする

クリック

4 各項目を設定し、[OK] をクリックする

参照 各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

参照 用紙をセットする方法については、「第６章　用紙について」（141 ページ）参照

手順 3 の画面に戻ります。

5 [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

参照 うまく印刷できないときは、「第７章　こんなときには」（151 ページ）参照

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることできます。
Printianavi は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法を、パソコンの画面にポップアップ表示します。

Printianavi : FUJITSU XL-XXXX
[0301-100c 用紙なし]
給紙カセットに用紙がありません。(A4)
給紙カセットに用紙を補給してください。
ユーザ名 : Administrator
文書名 : Printer Test Page
印刷完了ページ : 0 / 1ページ
印刷完了枚数 : 0枚
排紙先 : フェイスダウントレイ
使用中のユーザ : Administrator
OK 印刷中止

参照 Printianavi によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

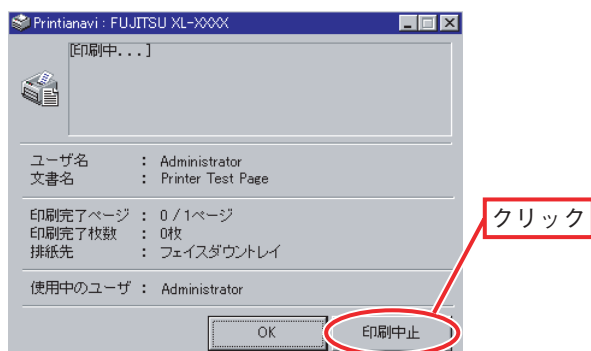
印刷の中止

印刷開始後（データランプ点滅または点灯）、印刷を中止する 2 つの方法を説明します。

パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、［Printianavi］ダイアログの表示方法の設定によって異なります。

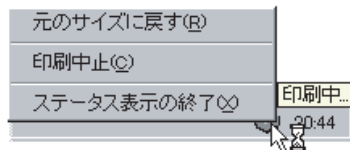
●ポップアップ表示のとき

［印刷中止］をクリックする

●エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

タスクトレイのアイコンをダブルクリックし、［印刷中止］をクリックする

ガイド

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「印刷中止」を選択して、印刷を中止することもできます。

元のサイズに戻す(R)
印刷中止(C)
ステータス表示の終了(X)
印刷中...
20:44

オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット(初期化)を終了します。

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押す

××××××には、使用ポートが表示されます。

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

インサツチュウ　XXXXX
1ー A4

↓「オンライン」

ハイシュツ　ショリチュウ
1ー A4

↓

オフライン　XXXXX

2 「リセット」スイッチを押す

このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開します。

↓「リセット」

ショキカ　シマスカ(Y, N)?
リセット→Y　オンライン→N

3 再度「リセット」スイッチを押す

プリンタを初期化します。
受信データがあると、データ / 排出ランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

↓「リセット」

ショキカチュウ

ガイド

プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianavi を使用しているときは、パソコン上の Printianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

参照　オペレータパネルの詳細は「第5章　オペレータパネルの操作」(113 ページ) 参照

プロセスカートリッジの交換と使用上のご注意

プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ1本あたりの目安として、LB315Aの場合A4サイズの用紙で約6000ページ、LB315Bの場合A4サイズの用紙で約10000ページの印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、プロセスカートリッジを取り外し、新しいプロセスカートリッジと交換します

参照 「プロセスカートリッジの取り外し」（98ページ）参照

参照 「プロセスカートリッジの取り付け」（39ページ）参照

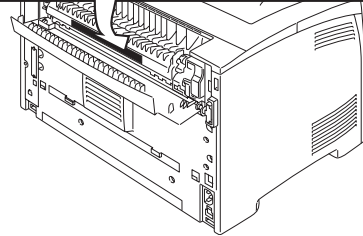
参照 プロセスカートリッジに関する詳細は、「サプライ品一覧」（189ページ）参照

警告

破　裂	プロセスカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねて火傷の原因になります。 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照 「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（193ページ）参照
誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。 ・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
け　が	上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。 上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因になりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

注意

故　障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になる恐れがあります。
やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因になることがあります。

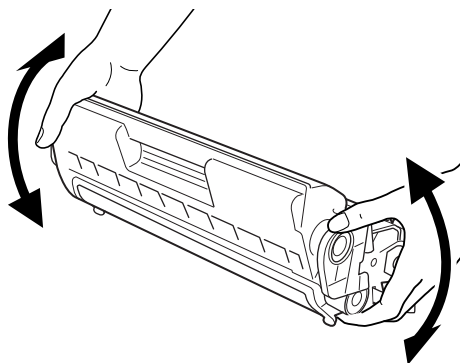
警告ラベル

プロセスカートリッジ交換時のお願い

プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。
- 装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のプロセスカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。純正品のプロセスカートリッジに交換してください。

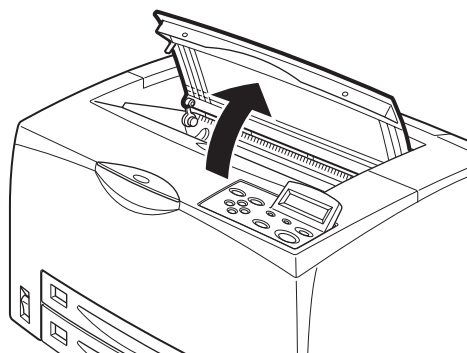
```
カートリッジ゛ イジ゛ョウ
 ＥＰカートリッジ゛ コウカン
```

プロセスカートリッジの交換に関する留意事項

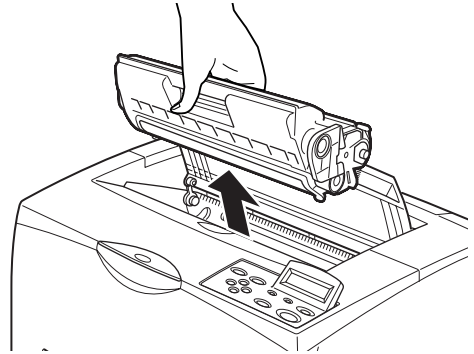
・プロセスカートリッジの保管期限は約２年間です。お買い上げ後は２年以内にご使用ください。
・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
- 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  プロセスカートリッジを図のように取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき

- 不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

プロセスカートリッジの取り外し

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

1 プリンタの上部カバーを開く

2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

ガイド

・トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
・使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「プロセスカートリッジの取り付け」にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

参照 「プロセスカートリッジの取り付け」(39 ページ) 参照

●使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』
フリーダイヤル:0120-300-693
平日 8:40 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:30
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
・直射日光や強い光 (約 1500 ルクス以上) に当てないでください。
・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを 5 分以上放置しないでください。
・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
・寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
・感光体 (ドラム) 表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　15 ～ 80％RH（ただし、結露のないこと）
・高温多湿になる場所には置かないでください。
・立てたり、裏返しにして置かないでください。
・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

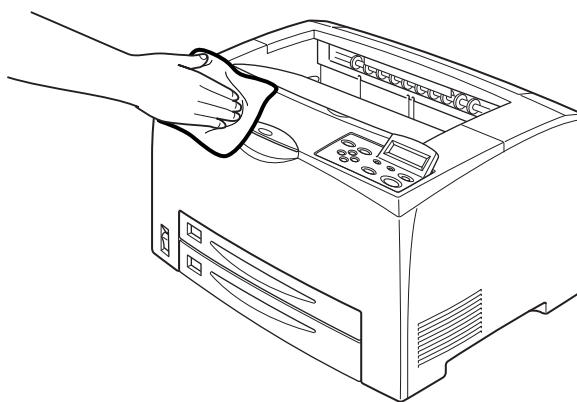
注意

やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。
- プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
- 水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
- 油をさす必要はありません。注油はしないでください。

プリンタ外部を清掃する

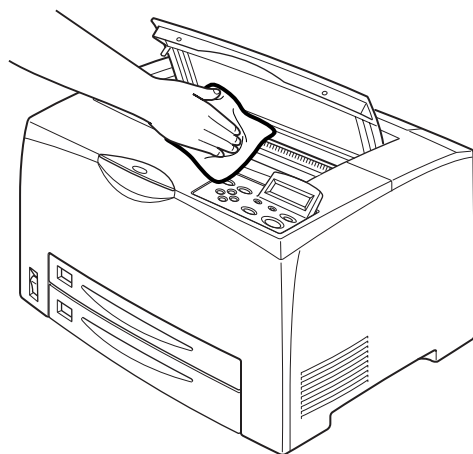
カバー表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部を清掃する

プリンタ内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

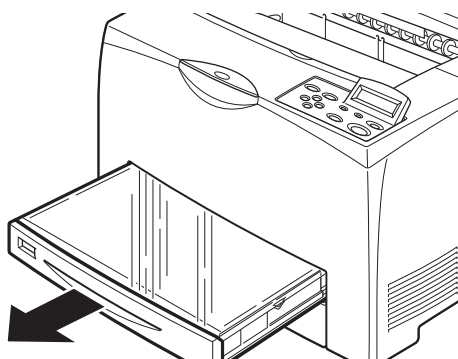
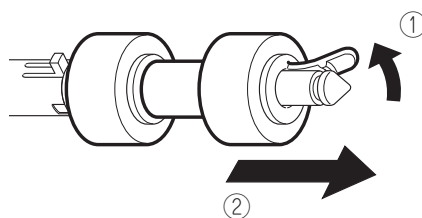
●内部の点検

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

参照 「プロセスカートリッジの取り外し」(98 ページ)参照

1. プリンタの上部カバーを開く
2. プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる
   - ･紙片が残っていれば取り除きます。
   - ･ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

●紙送りローラの清掃

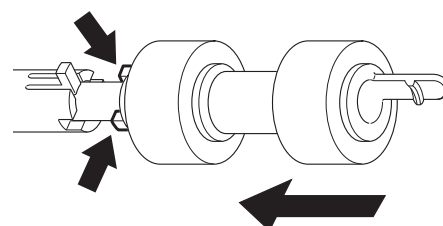
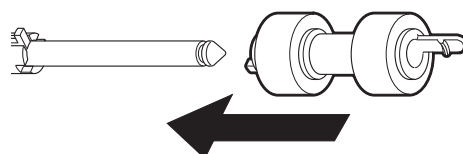
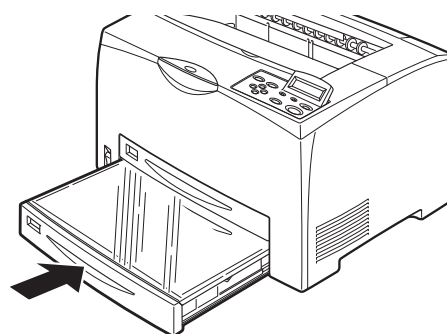
年賀はがきなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り外し、紙送りローラ(ゴムローラ(2個))を清掃してください。

1. カセットをプリンタから引き抜く

2 紙送りローラのツメを広げて（①）、紙送りローラを給紙カセットの軸からゆっくり取り外す（②）

3 水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭く

お願い

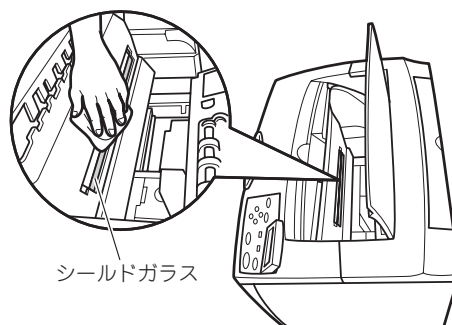
水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

4 紙送りローラのツメを右側にして、カセットの軸にゆっくりと差し込む

紙送りローラの溝を軸の溝に合わせるようにして、紙送りローラをしっかり奥まで差し込み、ツメを軸の溝に合あわせます。

5 カセットをプリンタの奥に突き当たるまでしっかり押し込む

●シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

1. 金属板の下にあるシールドガラスを乾いた布でていねいに拭く

シールドガラス

給紙トレイ（オプション）内部を清掃する

給紙トレイ（オプション）内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

年賀はがきなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。給紙トレイ内部を清掃してください。

●搬送部の清掃

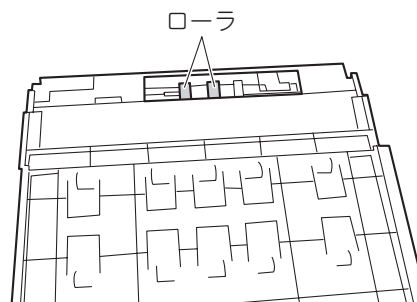
1. 搬送部を給紙トレイから引き抜く
2. 水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、内部のローラ類をていねいに拭く

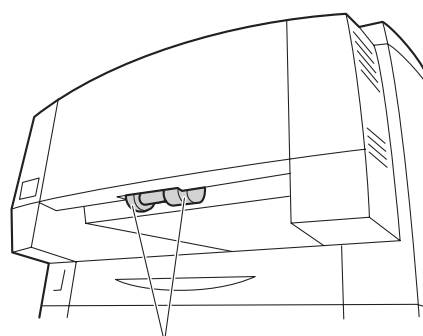
ローラ

お願い

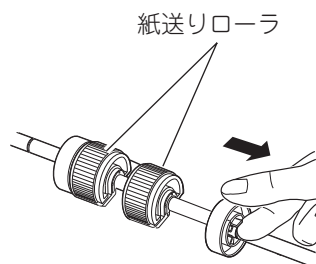
水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

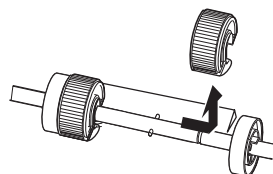
3 搬送部の後ろ側のローラを 2 と同様に拭く

ローラ

●紙送りローラの清掃

給紙トレイについている紙送りローラをはずし、清掃します。

紙送りローラ

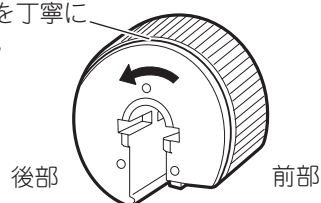
1 紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラのツメを、軸の溝から外しながら外側にずらす

左側のローラは左へ、右側のローラは右へずらします。

紙送りローラ

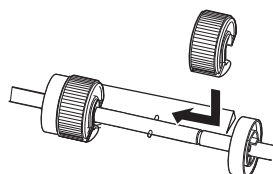
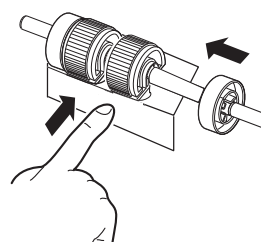
2 紙送りローラを外側にずらし、回転させながら外側に取り外す

3 水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭く

ゴム製の部分を丁寧に拭き取ります。

後部　前部

お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

4 紙送りローラを回転させながら、もとに戻す。矢印の刻印が手前に向くようにする。
ローラを軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす

このときローラが引っかからないよう、手前側にあるプレートを押しながら、作業してください。

5 ローラの手前側にあるプレートを押しながら、外側のローラ（プラスチック）を内側にずらして紙送りローラを固定する

6 左側の紙送りローラも同じ手順で清掃する

ガイド

外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。

プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

警告

感 電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となる恐れがあります。
感 電 火 災	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。

参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）参照

2 用紙を取り出す

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

参照 用紙の保管については、「第 6 章　用紙について」（141 ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意

けが	本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

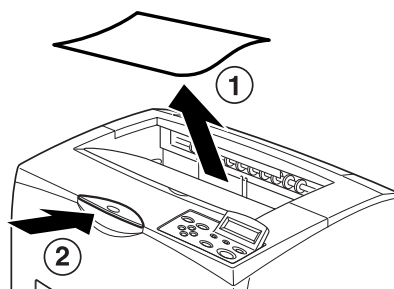
エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから、電源を切ってください。

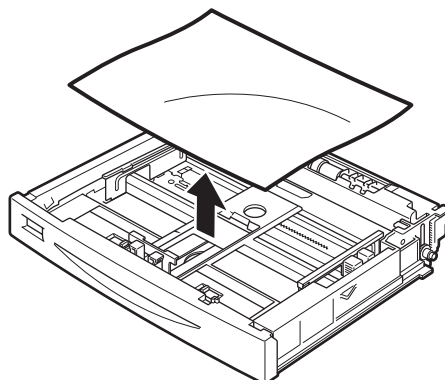
参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」(170 ページ)参照

2 ケーブルを抜く

パラレルケーブルまたは USB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3 排紙トレイの用紙を取り除く

排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除き(①)、排紙延長トレイが引き出されている場合は、元に戻します(②)。

4 MP カセットまたは給紙トレイ、給紙カセットの用紙を取り除く

MP カセットまたは給紙トレイ、給紙カセットをプリンタから引き抜き、用紙を取り除きます。

ガイド

用紙の入っている MP カセットまたは給紙トレイ、給紙カセットは重いので、注意してプリンタから抜いてください。

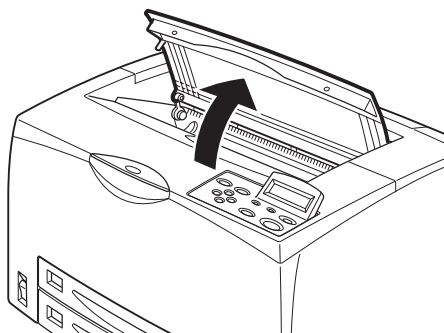
参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ)参照

参照 「給紙トレイを取り外す」(75 ページ)参照

参照 用紙の保管については、「第 6 章 用紙について」(141 ページ)参照

5 上部カバーを開く

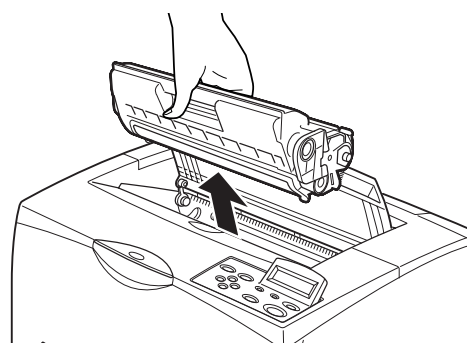
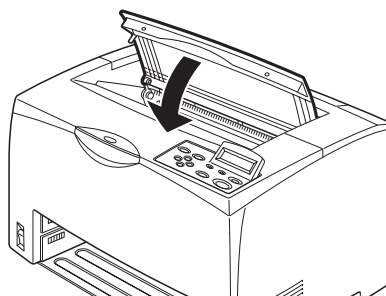
お願い

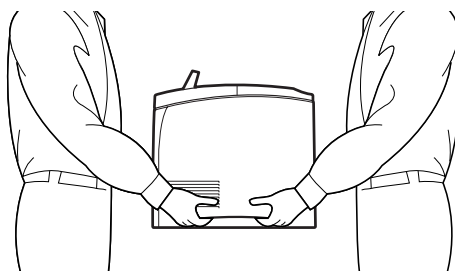
プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

6 プロセスカートリッジを取り外す

プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外します。

参照 「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照

お願い

- プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- 取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、ビニール袋に入れるか、厚い布などに包んでください。

7 上部カバーを閉じる

8 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参照 設置し直すときの手順については、「第 2 章　プリンタ本体の設置」（33 ページ）参照

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

1 付属品を取り外す

参照 「近くに移動する」の1～4（109 ページ）参照

2 梱包し直す

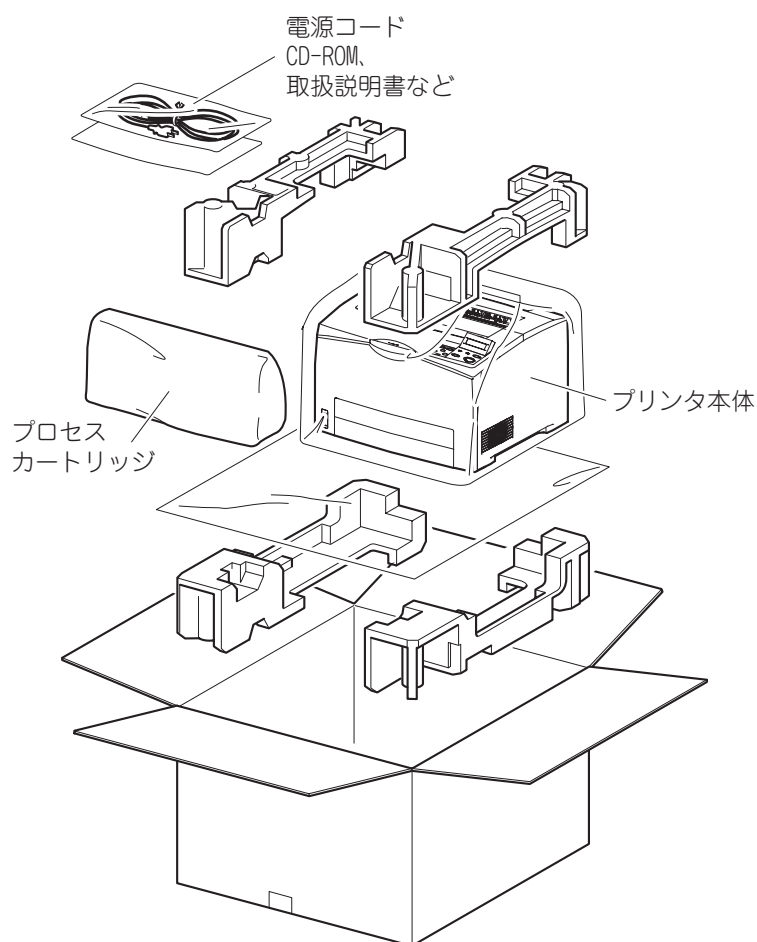
下図のように梱包して、運搬してください。
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。

- 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。

参照 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（99 ページ）参照

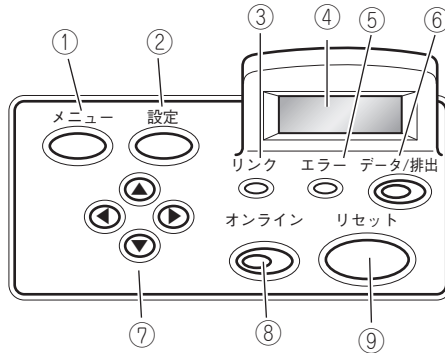
電源コード
CD-ROM、
取扱説明書など

プリンタ本体

プロセス
カートリッジ

第５章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

①	メニュースイッチ	プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニューモードを終了するときも使用します。	
②	設定スイッチ	メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。	
③	リンクランプ	ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。	
		点灯	ネットワークと接続されていることを示します。
		消灯	ネットワークと接続されていないことを示します。
④	液晶ディスプレイ	プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。（1 行 16 文字の 2 段に表示されます。）	
⑤	エラーランプ	プリンタの異常を知らせます。	
		点灯	プリンタでエラーが発生していることを示します。
		消灯	プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。
⑥	データランプ／排出スイッチ	データランプは、印刷データの受信状態を次のように知らせます。また、排出スイッチは未処理のデータがある場合、スイッチを押すと強制的に印刷を行います。	
		点灯	プリンタ内にデータが残っている場合です。
		点滅	データを受信中です。
		消灯	データがない状態です。

<table>
<tr><td>⑦</td><td>▲▼◀▶
スイッチ</td><td colspan="2">メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑧</td><td rowspan="3">オンラインランプ /
オンラインスイッチ</td><td colspan="2">オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>印刷できる状態、または印刷中です。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>印刷できない状態です。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>リセットスイッチ</td><td colspan="2">印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。</td></tr>
</table>

参照 「メニュー」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119 ページ）参照

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

ガイド

エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「第7章　こんなときには」の「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170 ページ）を参照してください。

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

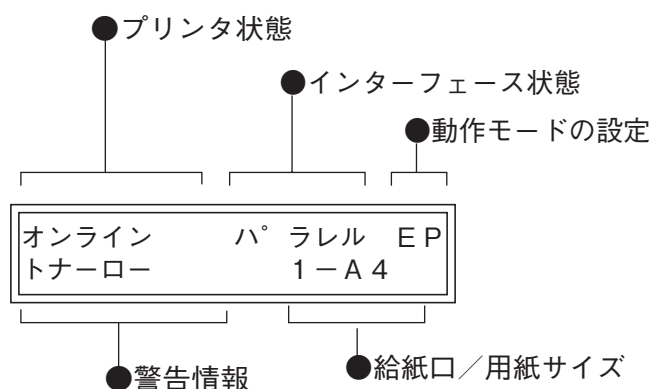
参照　「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」（43 ページ）参照

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

●プリンタ状態
●インターフェース状態
●動作モードの設定

オンライン　　　ハ゜ラレル　ＥＰ
トナーロー　　　　１－Ａ４

●警告情報
●給紙口／用紙サイズ

項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態を表示します。	
	オンライン	オンライン状態または印刷データを受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	インサツチュウ	印刷を行っています。
	ジュンビ	ウォームアップ中、またはクールダウン中（＊）です。
	セツデン	パワーセーブ中です。
インターフェース状態	データを受信したポート状態を表示します。	
	パラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	ＬＡＮ	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	ＵＳＢ	USB ポート経由でパソコンと通信しています。

＊：大量の連続印刷中や、異なる用紙設定に切り替えて印刷する場合に、定着器の過熱を防ぐために冷やしています。

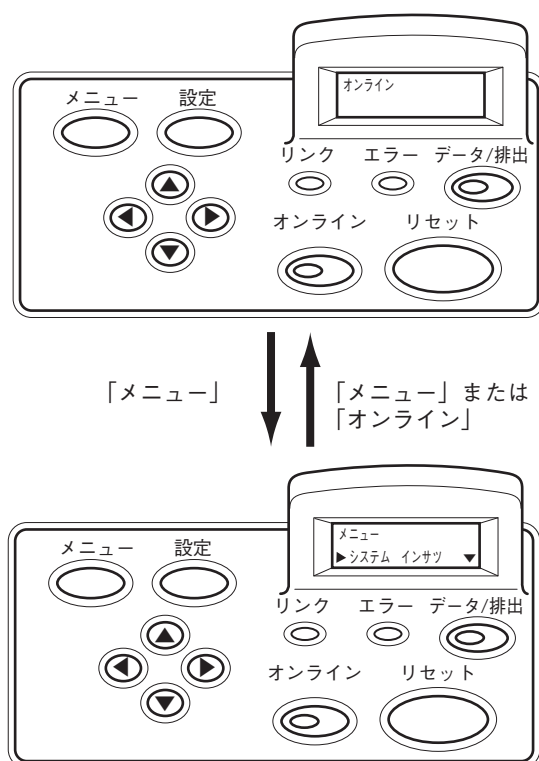
項目	表示内容	説明
動作モードの設定	プリンタの動作モードを表示します。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます。(初期値はエミュレーション設定「解除」)	
	ＥＰ	ESC/P モード
	ＨＸ	HEX ダンプ印刷モード
	表示なし	Printia XL ドライバの印刷動作中
	MW	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中
	ＭＲ	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中
警告情報	警告情報を表示します。	
	表示なし	警告なし
	カセットカクニン n	カセットなし状態
	MP カクニン	マルチユニットなし状態
	トレイカクニン	給紙トレイの搬送部がない状態
	トナーロー	トナーの残りが少なくなった状態
	テイチャクキ	定着器の交換時期
	ソウチジュミョウ	プリンタが寿命に達した状態
給紙口／用紙サイズ	印刷中の給紙口と用紙サイズを表示します。	
	【給紙口】	
	１	給紙カセット１から、給紙、印刷中です。
	２	給紙カセット２から、給紙、印刷中です。
	３	給紙カセット３から、給紙、印刷中です。
	M-	MP カセット / 給紙トレイから、給紙、印刷中です。
	M*	給紙トレイ（ダイアル設定）から給紙、印刷中です。
	【用紙サイズ】	
	Ａ ３	A3 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ ４	A4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ ５	A5 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ ４	B4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ ５	B5 用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＧＬ	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＴＲ	レター用紙を給紙、印刷中です。
	ハガキ	官製はがきを給紙、印刷中です。
	フテイ	ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。
	フテイ Ｌ	長尺紙を給紙、印刷中です。

オペレータパネルからの設定（メニューモード）

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

参照　メニューモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）は、「メニューモードの項目一覧」（122 ページ）参照

基本的な操作

メニューモードに入るときは、「メニュー」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「メニュー」または「オンライン」スイッチを押します。

メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

ガイド

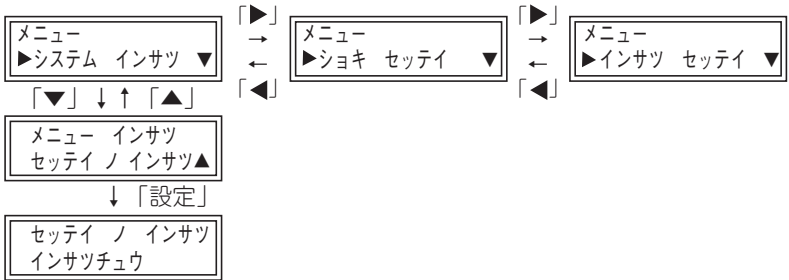
・プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（データランプ点灯中）は、メニューモードに入ることはできません。電源を入れてからしばらく経っている場合、オペレータパネルに「セツデン」と表示されることがありますが、メニューモードに入れます。
・オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。

```
  ハ゜スワート゛
▶ [_       ]
```

参照「オペレータパネルの操作制限」（138 ページ）参照

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

「◀」または「▶」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「▼」または「▲」スイッチ	下のレベルまたは上のレベルに移動します。
「設定」スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

```
メニュー            「▶」→  メニュー          「▶」→  メニュー
▶システム インサツ ▼  ←「◀」 ▶ショキ セッテイ ▼  ←「◀」 ▶インサツ セッテイ ▼
「▼」↓↑「▲」
メニュー インサツ
セッテイ ノ インサツ▲
↓「設定」
セッテイ ノ インサツ
インサツチュウ
```

●スイッチの使い分けと設定例

「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は「▼」「▲」スイッチを使用します。
IP アドレスの設定を以下に示します。

1 「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。

↓「▶」「◀」

```
 IPアドレス
*  0.    0.    0.    0
```

2 「▲」(加算)、「▼」(減算)スイッチで値を設定します。

↓「▲」「▼」

```
 IPアドレス
192.    0.    0.    0
```

3 各ブロックの設定が終わったらカーソルを左端に移動し、「設定」スイッチを押します。

↓「設定」

```
 IPアドレス              ▲
*192. 168.   0.  10
```

4 「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押す

●プリンタのリセット

プリンタは、「IP アドレス設定」および「LAN 設定」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニューモードを終了した場合にリセットされます。

●テスト印刷 (連続印刷) の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値に記載された「＊」および数値は、工場出荷時に登録される初期設定を示します。

参照　各項目の設定方法については、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119 ページ）参照

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
システム印刷	設定の印刷					現在のプリンタの設定内容を印刷します。
	HEX ダンプ印刷（*4）					ヘキサダンプ形式で印刷します。
	テスト印刷				格子連続 1	格子を 600dpi で連続で印刷します。
					格子連続 2	格子を 300dpi で連続で印刷します。
					格子連続 3	格子を 1200dpi で連続で印刷します。
					ESC/P 印刷（*4）	ESC/P モードで使用する文字をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
	消耗品レポート					消耗品の警告履歴のレポートを印刷します。
初期設定	IP アドレス設定（*1）	DHCP 自動取得		＊	設定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得します。
					解除	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得しません。
		IP アドレス（*2）			XXX.XXX.XXX.XXX	IP アドレスを設定します。
		サブネットマスク（*2）			XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ（*2）			XXX.XXX.XXX.XXX	ゲートウェイを設定します。ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。
	LAN 設定	MAC アドレス			表示	MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ（*7）		＊	自動	自動検出して動作します。
					100Mbps フル	100Mbps（Full）で動作します。
					100Mbps ハーフ	100Mbps（Half）で動作します。
					10Mbps	10Mbps で動作します。
		TCP/IP プロトコル		＊	有効	TCP/IP を有効にします。
					無効	TCP/IP を無効にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	LAN 設定	ポート番号 (*1)	印刷ポート番号		9313	印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。 [1 ～ 65535]
			検索ポート番号		9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。 [1 ～ 65535]
		サービス設定 (*1)(*9)	プリンタ検索	*	有効	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を有効にします。
					無効	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を無効にします。
			インターネットサービス	*	有効	WEB ブラウザでプリンタの状態を確認することや設定を更新することができます。
					無効	WEB ブラウザでのプリンタの状態確認や、設定が無効になります。
			SNMP	*	有効	SNMP を有効にします。
					無効	SNMP を無効にします。
			プリンタ起動通知	*	有効	プリンタ起動時にネットワークに通知します。
					無効	プリンタ起動時にネットワークに通知しません。
			BPP 印刷	*	有効	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を有効にします。
					無効	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を無効にします。
			IPP 印刷	*	有効	IPP による印刷を有効にします。
					無効	IPP による印刷を無効にします。
			LPR 印刷	*	有効	LPR 印刷を有効にします。
					無効	LPR 印刷を無効にします。
			RAW 印刷	*	有効	RAW 印刷を有効にします。
					無効	RAW 印刷を無効にします。
		アクセス管理 (*1)(*8) (*10)			有効	プリンタにアクセスするホストを IP アドレスで制限します。(IP アドレスの範囲は Printia LASER Internet Service で設定します。)
				*	無効	プリンタへのアクセスを制限しません。

第5章 オペレータパネルの操作

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能〔範囲〕
初期設定	ポート設定	パラレル ポート設定	双方向 モード	＊	設定	双方向インターフェースを有効にします。
					解除	双方向インターフェースを無効にします。
			INIT 受信	＊	有効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を有効にします。
					無効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を無効にします。
			タイムアウト時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
		USB ポート 設定	双方向 モード	＊	設定	双方向インターフェースを有効にします。
					解除	双方向インターフェースを無効にします。
			タイム アウト時間		30 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
			受信バッファ	＊	標準	USB の受信バッファ容量を設定します。
					MIN	
					MAX	
	管理／ 初期化	メニュー 操作制限 (*9)			設定	オペレータパネルをロックし、パスワードの入力を要求します。
				＊	解除	オペレータパネルの操作が有効になります。
		LAN 初期化				LAN に関する設定値を工場出荷時の値に戻します。
		設定初期化				すべての設定値を工場出荷時の値に戻します。 (LAN に関する設定を除きます。)
		パスワード 変更				オペレータパネルをロックしているときに要求されるパスワードを変更します。パスワードは4ケタ以内の数字を入力します。
		消耗品履歴 初期化				消耗品レポートに表示される消耗品の警告履歴をクリアします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	その他の設定	節電時間		*	1 分	設定した値が経過すると、パワーセーブモードに遷移します。
					15 分	
					30 分	
					60 分	
					240 分	
		ブザー		*	設定	エラー時にブザーを鳴動させます。
					解除	エラー時にブザーを鳴動させません。
		タッチ音		*	設定	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。
					解除	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。
		印字濃度調整			8	印字濃度を設定します。［0 ～ 15］数値が大きくなると濃くなります。
		主走査方向位置	MP/ 給紙トレイ		0.0mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットのスキャンする方向（横ライン）の位置を調整します。[-3.5 ～ 3.5mm]0.5mm 単位
			カセット 1			
			カセット 2 (*3)			
			カセット 3 (*3)			
			両面ユニット (*5)			
		副走査方向位置	MP/ 給紙トレイ		0.0mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットの紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。[-3.5 ～ 3.5mm]0.5mm 単位
			カセット 1			
			カセット 2 (*3)			
			カセット 3 (*3)			
			両面ユニット (*5)			
		エミュレーション設定		*	解除	プリンタを XL ドライバモードで動作させます。
					ESC/P	プリンタを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能〔範囲〕
印刷設定	給紙口			*	カセット 1	2 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 2 (*3)	3 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 3 (*3)	4 段目の給紙ユニットから給紙します。
					MP/ 給紙トレイ	1 段目の給紙ユニットから給紙します。
	自動給紙設定	MP/ キュウシトレイ		*	有効	自動給紙を行います。
		カセット 1			無効	自動給紙を行いません。
		カセット 2 (*3)				
		カセット 3 (*3)				
	MP ハガキモード (*13)			*	OFF	MP カセットをセットしていて、はがきに印刷しない場合に設定します。
					ON	MP カセットをセットしていて、はがきに印刷する場合に設定します。
	MP カセットモード (*11)			*	定形	設定の印刷およびエミュレーション印刷時に定形の用紙に印刷する場合に設定します。
					不定形	設定の印刷およびエミュレーション印刷時に不定形の用紙に印刷する場合に設定します。 設定の印刷を行う場合には不定形サイズは以下の範囲で設定してください。 幅　：100 ～ 297mm 長さ ：148 ～ 420mm
	給紙トレイ用紙サイズ (*12)			*	A4	A4 サイズに設定します。
					B5	B5 サイズに設定します。
					A5	A5 サイズに設定します。
					リーガル	リーガルサイズに設定します。
					レター	レターサイズに設定します。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	給紙トレイ用紙サイズ(*12)				ハガキ	はがきサイズに設定します。
					不定形	ユーザ定義サイズに設定します。このときの用紙サイズは、「不定形サイズ」の「不定形幅」および「不定形長さ」で設定します。
					A3	A3 サイズに設定します。
					B4	B4 サイズに設定します。
	不定形サイズ	不定形幅			297mm	給紙トレイにセットする不定形用紙の横の長さを指定します。［100 ～ 297mm］1mm 単位
		不定形長さ			420mm	給紙トレイにセットする不定形用紙の縦の長さを指定します。［148 ～ 420mm］1mm 単位
	両面印刷(*5)			*	解除	システム印刷時および ESC/P印刷時に両面印刷を行いません。(片面印刷)
					設定	システム印刷時および ESC/P印刷時に両面印刷を行います。
	印刷方向(*4)			*	縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。上端 / 左端の余白は固定になります。
					縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
					横	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。上端 / 左端の余白は固定になります。
					横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
	縮小印刷(*4)			*	100%	縮小せずに印刷します。
					75%	75% に縮小して印刷します。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	縮小印刷 (*4)				70%	70% に縮小して印刷します。
					リスト印刷 A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷します。
					リスト印刷 B4	ストックフォーム用の印刷データを B4 用紙に横方向で印刷します。
	コピー枚数 (*4)				1 枚	印刷する部数を設定します。［1 ～ 999 枚］
	とじしろ方向 (*4)			＊	長辺とじ	長辺側をとじしろとします。
					短辺とじ	短辺側をとじしろとします。
	とじしろモード (*4)			＊	左 / 上とじ	左側、または上側をとじます。
					右 / 下とじ	右側、または下側をとじます。
	とじしろ量 (*4)	表			0mm	表面のとじしろ量を設定します。［0 ～ 30mm］1mm 単位
		裏 (*5)			0mm	裏面のとじしろ量を設定します。［0 ～ 30mm］1mm 単位
	スムージング (*4)			＊	設定	印刷結果を滑らかにします。
					解除	印刷結果を滑らかにしません。
	トナーセーブ (*4)			＊	解除	トナーを節約しません。
					設定	トナーを節約します。
	データなし印刷 (*4)			＊	解除	データのないページを印刷しません。
					設定	データのないページを印刷します。
	タイマー監視印刷 (*4)			＊	解除	タイマー監視印刷を行いません。
					30 秒	監視時間を 30 秒にします。
					10 秒	監視時間を 10 秒にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能〔範囲〕
EP モード設定 (*4)	文字コード			＊	カタカナ	カタカナコード表を使用します。 参照 『オンラインマニュアル』「エミュレーション編」参照
					グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。 参照 『オンラインマニュアル』「エミュレーション編」参照
	給紙位置 (*6)			＊	8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5mm に設定します。
					22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 22mm に設定します。
	右マージン位置			＊	用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定します。右マージンは，使用する用紙サイズの印刷領域の右端までです。
					136 桁	用紙サイズに関係なく 136 桁 (13.6 インチ) に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合，印刷領域を越えた部分は印刷されません。
	ANK 文字			＊	ローマン	ANK 文字の書体をローマンにします。
					サンセリフ	ANK 文字の書体をサンセリフにします。
	漢字書体			＊	明朝	漢字の書体を明朝体にします。
					ゴシック	漢字の書体をゴシック体にします。
	CR コード			＊	CR のみ	CR 動作（復帰のみ）を行います。
					CR&LF	CR 動作（復帰）と LF 動作（改行）を行います。
	縦余白設定	縦上端余白			8.5mm	縦印刷のときの上端余白を設定します。 [給紙位置 (*6) ～ 50.0mm] 0.1mm 単位
		縦左端余白			5.0mm	縦印刷のときの左側余白を設定します。 [5.0～50.0mm] 0.1mm単位
	横余白設定	横上端余白			8.5mm	横印刷のときの上端余白を設定します。[給紙位置 (*6) ～ 50.0mm] 0.1mm 単位
		横左端余白			5.0mm	横印刷のときの左側余白を設定します。 [5.0～50.0mm] 0.1mm単位

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
EP モード設定 (*4)	印字位置調整	縦印字位置			0.0mm	印刷時の縦印字位置を設定します。[-30.0mm ～ 30.0mm] 0.1mm 単位
		横印字位置			0.0mm	印刷時の横印字位置を設定します。 [-30.0mm ～ 30.0mm] 0.1mm 単位
保守 メニュー	印刷枚数				XXXXX ページ	総印刷枚数を表示します。
	メモリ容量				XXXMB	標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。
	ROM 版数				Ver XX.XX	プリンタのファームウェアの版数を表示します。
	エンジン ROM 版数				Ver X.XX	プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。
	エンジン ステータス				STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	NV コード				XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジステータス				XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジ情報				ジョウホウ = X	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	装置 ステータス				XX=XXXX XXXX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	USB ステータス				表示	USB の接続状態を表示します。 (HIGH SPEED、 FULL SPEED、未接続)
	LAN ステータス				a.bbbb.cc cc.dd	LAN の通信状態を表示します。 参照 「TCP/IP の動作確認」(135 ページ) 参照
	IP アドレス表示 (*1)				IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
					サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
					ゲートウェイ	現在のゲートウェイを表示します。
	ソフト スイッチ	ソフト スイッチ X-X		*	OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 変更しないでください。
					ON	

*1　:「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。
*2　:「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。
*3　: 拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているとき表示します。
*4　:「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。

ガイド

アプリケーションで PrintiaXL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。プリンタドライバ側で設定してください。

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

*5　: 両面ユニット（オプション）を取り付けているとき表示されます。
*6　: 給紙位置が余白の最小値となります。
*7　: Ethernet タイプを設定した場合、電源を切断して、数秒経過後に再び投入してください。
*8　: Printia LASER Internet Service のアクセス許可リストの許可設定がすべて「無効」になっているときは表示されません。
*9　: 設定の詳細は、「セキュリティに関する設定」(137 ページ) 参照
設定を無効にした場合の詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」の Printia LASER Internet Service の説明を参照
*10 : 機能の詳細は「IP アドレスによるアクセス管理」(137 ページ)」参照
*11 : MP カセットを使用しているときのみ表示されます。
*12 : 給紙トレイ（オプション）を使用しているときのみ表示されます。
*13 : MP カセットを使用しているときのみ表示されます。プリンタ本体は、A5 以下の用紙サイズを認識できません。このため、はがきを印刷する場合には必ず設定を［ON］にし、A5 サイズの用紙に印刷する場合は、必ず設定を［OFF］にしてください。
MP カセットに、はがきおよび A5 サイズの用紙をセットする方法は

参照　「MP カセットにはがきをセットする」(47 ページ) 参照

参照　「MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする」(48 ページ) 参照

オペレータパネルで行える主な設定と操作

ここでは、プリンタのオペレータパネルで行える主な機能の設定や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容の一覧を印刷します。
設定の一覧は、メニューモードの「システム印刷」－「設定の印刷」で印刷します。
・ 設定の一覧の例

FUJITSU　ＸＬ－ＸＸＸＸ

システム情報

項目		値	項目		値
総印刷枚数	=	xxx枚	ＵＳＢステータス	=	HIGH SPEED
電源投入後総印刷枚数	=	xx枚	給紙トレイダイヤル位置	=	A4
メモリ容量	=	64MB	給紙口情報		
ＲＯＭ版数	=	Ver　1.xx	ＭＰ／給紙トレイ	=	A4
エンジンＲＯＭ版数	=	Ver　1.xx	カセット１	=	A4
両面ユニット	=	あり	カセット２	=	A4
カートリッジ状態	=	1	カセット３	=	A4

ＩＰアドレス設定

項目		値	項目		値
ＤＨＣＰ自動取得	=	解除	ＩＰアドレス	=	192.168.　0.　12
			サブネットマスク	=	255.255.255.　0
			ゲートウェイ	=	0.　0.　0.　0

ＬＡＮ設定

項目		値	項目		値
ＭＡＣアドレス	=	xxxxxxxxxxxx	サービス設定		
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ	=	自動認識	プリンタ検索	=	有効
ＴＣＰ／ＩＰプロトコル	=	有効	インターネットサービス	=	有効
印刷ポート番号	=	9313	ＳＮＭＰ	=	有効
検索ポート番号	=	9313	プリンタ起動通知	=	有効
ＴＣＰ／ＩＰ動作状態	=	0（エラーなし）	ＢＰＰ印刷	=	有効
ＬＡＮステータス	=	1.1111.1111.11	ＩＰＰ印刷	=	有効
アクセス管理	=	有効	ＬＰＲ印刷	=	有効
			ＲＡＷ印刷	=	有効
プリンタのＵＲＬ	=				

ガイド

- 印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、A5 サイズより小さい不定形用紙は印刷できません。印刷した場合は、「サイズフソク Ａ ４ ヲ イレテクダサイ」と表示されますので、他のサイズに変更して再度印刷してください。
- 用紙がない場合は「ヨウシ ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
- 印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
- LAN 設定で「TCP/IP プロトコル」を「無効」にしたとき、LAN 設定内容は印刷されません。
  また、エミュレーション設定を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

ＩＰアドレスの設定

本プリンタに IP アドレスを設定するには、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。
設定は、ネットワークに接続されたパソコンから添付の CD-ROM に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法は『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

●手動設定の場合

設定は、メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」で、まず「DHCP 自動取得」を解除に変更してから、IP アドレスの設定を行います。
メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1 DHCP 自動取得を解除する

「▶」または「◀」スイッチを押して「カイジョ」と表示させせます。「設定」スイッチを押すと「＊」が表示され、値が設定されます。初期設定は「＊セッテイ」です。

↓「▶」または「◀」

```
 DHCPジ ド ウシュトク
▶＊ カイジ ョ          ▲
```

↓「設定」

2 IP アドレスを設定する

① 「▲」スイッチを押して次の表示にします。

↓「▲」

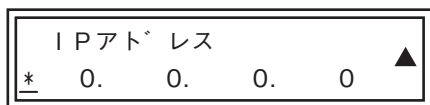
```
 IPアド レス  セッテイ
▶DHCPジ ド ウシュトク  ▲▼
```

② 「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

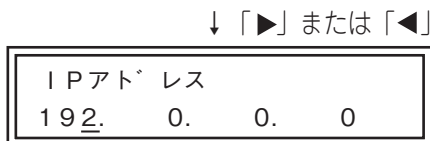
↓「▶」スイッチ

```
 IPアド レス  セッテイ
▶IPアド レス          ▲▼
```

↓「▼」

```
 IPアド レス           ▲
＊ 0.   0.   0.   0
```

③ 「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック(IP アドレス 1 ～ 4)を選択して「▲」「▼」スイッチで値を設定します。

↓「▶」または「◀」

```
 IPアド レス
192.   0.   0.   0
```

④ 各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが＊に移動しているのを確認します。(この操作では、IP アドレスはまだ反映されません。)
サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順②の表示に戻した後「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で③～④の操作を行ってください。

↓「設定」

```
 ＩＰアト゛レス           ▲
＊１９２．１６８．   ０．  １０
```

※IPアドレスは設定例です。

3 設定を終了する

設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、プリンタに設定値を反映させます。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

● DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」－「DHCP 自動取得」が「＊セッテイ」になっていることを確認します。
DHCP サーバとプリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源を投入してください。プリンタの起動時に IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

ガイド

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「初期設定」－「LAN 設定」－「MAC アドレス」を参照、または設定の一覧を印刷してください。
- DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
取得した IP アドレスは、メニューモードの「保守メニュー」－「IP アドレス表示」で確認することができます。
- IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IP アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「初期設定」－「IP アドレス設定」－「DHCP 自動取得」(「●手動設定の場合」の手順 1 ～ 2 参照) が「＊セッテイ」になっているか確認します。「＊カイジョ」の場合は、「＊セッテイ」に変更してください。(初期値は「＊セッテイ」です。)
設定変更後、メニューモードを抜けるとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

TCP/IP の動作確認

TCP/IP が正常に動作しているかの確認は、メニューモードの「システム印刷」-「設定の印刷」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IP 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。

● TCP/IP 動作状態

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	IP アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IP アドレスを設定してください。DHCP で IP アドレスを自動取得している場合は、電源を再投入してください。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

● LAN ステータス

LAN の接続状態を「a．ｂｂｂｂ．ｃｃｃｃ．ｄｄ」の形式で表示します。各部の意味は次の通りです。

ａ：ネットワークに接続されているかを表示します。
└─１：ネットワークに接続されています。
　０：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ｂｂｂｂ：プリンタのデータ転送能力を表示します。
｜｜｜└─ 10Base-T Half　１：有効／０：無効
｜｜└── 10Base-T Full　１：有効／０：無効
｜└─── 100Base-TX Half １：有効／０：無効
└──── 100Base-TX Full １：有効／０：無効
※メニューモードの「LAN 設定」-「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。

ｃｃｃｃ：ハブなどのプリンタの接続先のデータ転送能力を表示します。
｜｜｜└─ 10Base-T Half　１：有効／０：無効
｜｜└── 10Base-T Full　１：有効／０：無効
｜└─── 100Base-TX Half １：有効／０：無効
└──── 100Base-TX Full １：有効／０：無効
※ハブによっては「0000」と表示される場合があります。このときは、ハブの取扱説明書で転送能力を確認してください。

ｄｄ：現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表示します。
｜└─１：100Mbps ／０：10Mbps
└──１：Full ／０：Half
※ａ が０のときは、「──」と表示されます。

セキュリティに関する設定

ここでは、プリンタを使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

ガイド

セキュリティに関するすべての機能は、Printia LASER Internet Service から設定することができます。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、Printia LASER Internet Service からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート/サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効 / 無効を設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「ＬＡＮ 設定」－「サービス設定」から行います。

ガイド

各設定を無効にした場合についての詳細は、Printia LASER Internet Service のネットワークサービスの説明を参照してください。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

IPアドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン (IP アドレス) を制限するかしないかを設定します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「ＬＡＮ 設定」－「アクセス管理」から行います。

ガイド

ＩＰ アドレスを制限する場合は、あらかじめ Printia LASER Internet Service のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード（4桁以内の数字）で制限します。
設定は、メニューモードの「初期設定」－「管理／初期化」－「メニュー操作制限」から行います。パスワードの初期値は、「9999」です。パスワードの変更は、メニューモードの「初期設定」－「管理／初期化」－「パスワードの変更」から行ってください。
「メニュー操作制限」を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移るときにパスワードの入力を要求されます。

「▶」または「◀」スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、「▲」または「▼」スイッチで値を設定したあと、「設定」スイッチを押してください。

```
 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
▶ [_      ]
```

ガイド

パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。
- Printia LASER Internet Service で新しいパスワードを設定
  「管理者モード」－「オプション情報」－「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。

  参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
- オペレータパネル操作制限無効モードで起動
  「メニュー」スイッチと「設定」スイッチを同時に押しながら、プリンタの電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのトナーカートリッジなどの消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

ガイド

添付ソフトウェアによりパソコン上で消耗品の警告発生履歴のログを採取・管理する方法もあります。

参照 詳細は『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●履歴の保存

履歴は最大 90 件まで自動的に保存されます。90 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 90 件を保存します。

●履歴の出力

履歴は次の方法で出力することができます。

・レポート印刷
メニューモードの「システム印刷」－「消耗品レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。

消耗品履歴レポートの出力例

```
XL-XXXX　消耗品履歴レポート

装置情報
MACアドレス：xxxxxxxxxxxx
ROM版数　　：Ver xx.xx

[ID]　[総印刷枚数]　[電源投入時間]　　[ログ情報]　　　　　　[要因]
0XX　 XXXXXXXX　　　 XXXXXXXX　　　カートリッジ　　　　　トナーロー警告発生
0XX　 XXXXXXXX　　　 XXXXXXXX　　　定着器ユニット　　　　寿命警告発生
　：
0XX　 XXXXXXXX　　　 XXXXXXXX　　　カートリッジ　　　　　トナーロー警告発生
0XX　 XXXXXXXX　　　 XXXXXXXX　　　装置寿命　　　　　　　装置寿命発生
```

ガイド

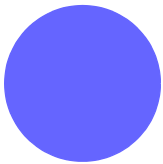
電源投入時間では、電源が投入されていた累積時間を表示します。
単位は、時間になります。

・Printia LASER Internet Service による CSV ファイル出力
「管理者モード」－「オプション情報」－「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●履歴の消去

履歴はメニューモードの「初期設定」－「管理／初期化」－「消耗品履歴初期化」で消去することができます。

第6章
用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係を次の表に示します。

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
MP カセット	普通紙 / 再生紙	A3 タテ、B4 タテ、A4 ヨコ、B5 ヨコ、A5 ヨコ、リーガルタテ、レターヨコ、不定形(幅 100 ～ 297 ×長さ 148 ～ 420mm)	60 ～ 90g/ ㎡	約 150 枚 (64g/ ㎡の用紙の場合)
	厚紙		91 ～ 135g/ ㎡	横ガイドの上限線まで
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/ ㎡	約 60 枚
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	約 100 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60 ～ 135g/ ㎡	約 75 枚
給紙トレイ (オプション)	普通紙 / 再生紙	A3 タテ、B4 タテ、A4 ヨコ、B5 ヨコ、A5 ヨコ、リーガルタテ、レターヨコ、不定形(幅 100 ～ 297 ×長さ 148 ～ 420mm)	60 ～ 90g/ ㎡	約 100 枚 (64g/ ㎡の用紙の場合)
	厚紙		91 ～ 135g/ ㎡	横ガイドの上限線まで
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/ ㎡	約 50 枚
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	約 75 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60 ～ 135g/ ㎡	約 75 枚
	長尺紙	幅 297（固定）×長さ 420.1 ～ 900mm	60 ～ 135g/ ㎡	一枚ずつ手でセット
給紙カセット (標準)	普通紙 / 再生紙	A3 タテ、B4 タテ、A4 ヨコ、B5 ヨコ、A5 ヨコ、リーガルタテ、レターヨコ、不定形(幅 100 ～ 297 ×長さ 148 ～ 420mm)	60 ～ 90g/ ㎡	約 250 枚 (64g/ ㎡の用紙の場合)
	厚紙		91 ～ 135g/ ㎡	横ガイドの上限線まで
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	約 100 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60 ～ 135g/ ㎡	横ガイドの上限線まで
拡張給紙ユニット (オプション) (A3/250 枚または 550 枚)	普通紙 / 再生紙	A3 タテ、B4 タテ、A4 ヨコ、B5 ヨコ、A5 ヨコ、リーガルタテ、レターヨコ、不定形（幅 100 ～ 297 ×長さ 148 ～ 420mm)	60 ～ 90g/ ㎡	約 250 枚または 550 枚(64g/ ㎡の用紙の場合)
	厚紙		91 ～ 135g/ ㎡	横ガイドの上限線まで

お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- 官製はがきは、給紙カセットからは印刷できません。MP カセットまたは給紙トレイから印刷してください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。
  異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。
- 長尺紙は、給紙トレイ（オプション）からのみ印刷できます。
- 不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。
- 幅が 297mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。
- OHP フィルム、ラベル紙は拡張給紙ユニットから印刷できません。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。
- 再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「古紙 100%再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。
  - 不定形用紙の印刷において、しわ / 斜行 / 角折れ / 二重送 / 紙づまり等が発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール / 反りをなおしてから用紙をセットしてください。
    また、高温 / 高湿環境や低温 / 低湿環境を避けて、保管 / 運用してください。

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（189 ページ）参照

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 190 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。
また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送 / 印刷 / 定着に関係する部品が汚損 / 変質 / 磨耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。

お願い

- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度　A4 サイズで± 2mm 程度
  - 用紙の傾き　100mm 当たり± 1mm 程度
  - 画像の伸縮　100mm 当たり± 1mm 程度

長尺紙

- 縦や横に長いデータ（900mm の長さまで）を印刷することができます。印刷は Printia XL ドライバのみ使用可能です。
- 長尺紙は、給紙トレイ（オプション）からのみ印刷できます。

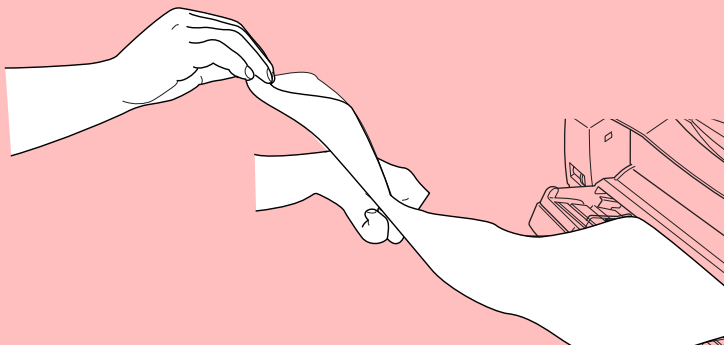
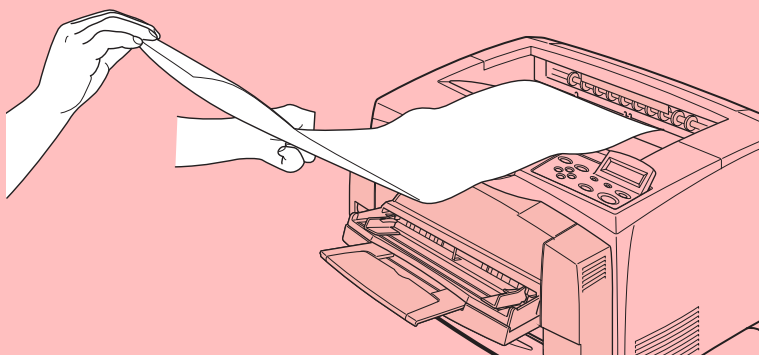
参照　給紙トレイに用紙をセットする方法は、
「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照

- 長尺紙は、サプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙以外を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（189 ページ）参照

- 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

お願い

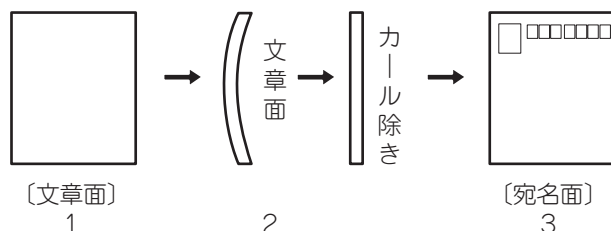
- 幅が 297mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障する恐れがあります。
- アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- 長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を十分に（10mm 以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- 用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。
- 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- 長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。

- 印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。(両面印刷機能には、対応していません。)
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。
反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。

1→2→3

文章面

カール除き

〔文章面〕 1　　2　　〔宛名面〕 3

官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。
・ 印刷面を上にしてセットしてください。
・ MP カセットに横長方向にセットしてください。
・ ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

定着時の熱(約 190 ℃)で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ガイド

OHP フィルムは、MP カセット、給紙カセット(標準)および給紙トレイ(オプション)で印刷できます。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱(約 190 ℃)で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い

OHP フィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

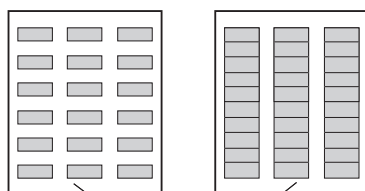
使用できない用紙

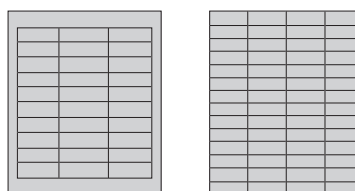
以下の用紙は本製品では使用できません。

本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
・湿っている用紙や、濡れている用紙
・一度印刷された用紙
・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・静電気で密着している用紙
・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
・大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙等）や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されているプレプリント用紙
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190 ℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
・190 ℃の熱で溶けたり、変質する用紙
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙
・インクジェット専用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
・カラーページプリンタ用の OHP フィルム、長尺紙
・封筒
・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

×使用できません

○使用できます

つるつるした台紙面

全面ラベル紙

両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。
厚紙（91g/m^2 ～ 135g/m^2）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙、官製はがき

給紙カセットで使用できない用紙

長尺紙は、給紙カセットでは使用できません。オプションの給紙トレイをご使用ください。

お願い

長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。

MP カセットで使用できない用紙

長尺紙は、MP カセットでは使用できません。オプションの給紙トレイをご使用ください。

お願い

長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。
・ 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・ 平らなパレットの上
・ 温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。
・ 床の上に直接置く
・ 直射日光の当たる場所
・ 外壁の内側の近く
・ 段差や、曲がりのある場所
・ 静電気が発生するところ
・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・ 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。
・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・ 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド

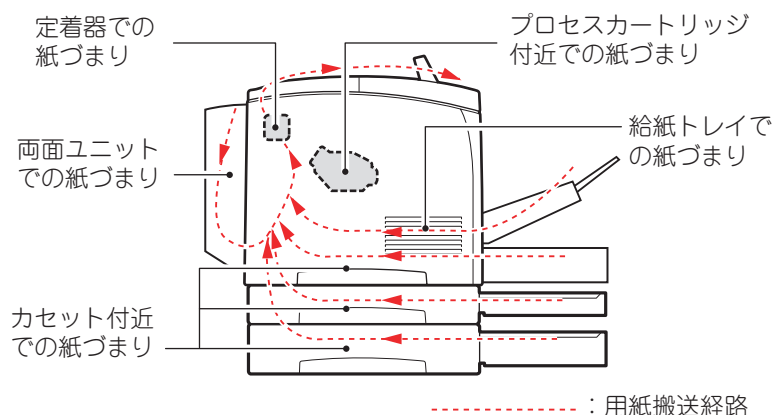
・ 長時間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。具体的には以下のような現象が発生する場合があります。
  - 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる。
  - 印刷した用紙にシワが発生する。
  - 紙づまりが発生する。
・ 再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意頂きますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れ等が発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日等のプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「古紙 100％再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。

第７章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅ゛マリ』と表示されます。
エラーメッセージには、紙づまりが発生した場所も表示されます。
次の要領でつまった用紙を取り除いてください。
つまった用紙をすべて取り除きカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

定着器での紙づまり
プロセスカートリッジ付近での紙づまり
給紙トレイでの紙づまり
両面ユニットでの紙づまり
カセット付近での紙づまり
：用紙搬送経路

お願い

- つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- つまった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

ガイド

- プロセスカートリッジ付近に紙づまりが発生した場合、オペレータパネルに「プリンタナイブ」と表示されます。
- 定着器に紙づまりが発生した場合、オペレータパネルに「ハイシトレイ」または「プリンタナイブ」と表示されます。

注意		
	けが	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。 ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因になることがあります。 ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因になることがあります。
	火災	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。 なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご連絡ください。

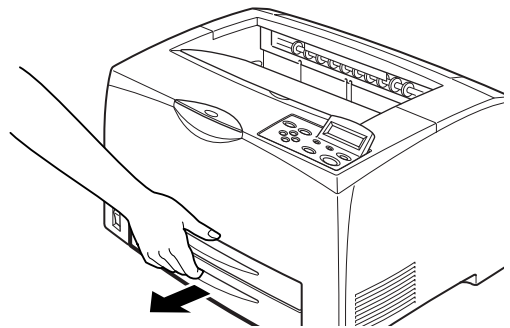
紙づまりのおもな原因

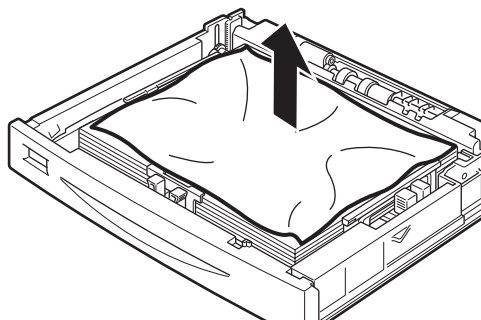
紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

カセット付近でつまった用紙を取り除く

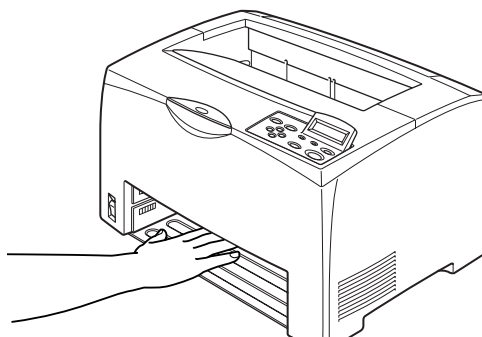
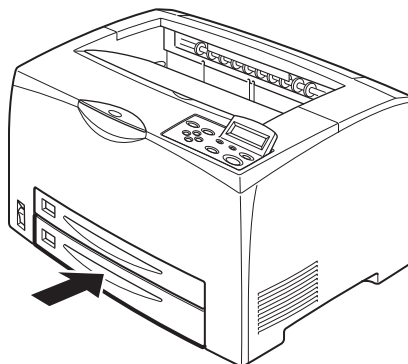
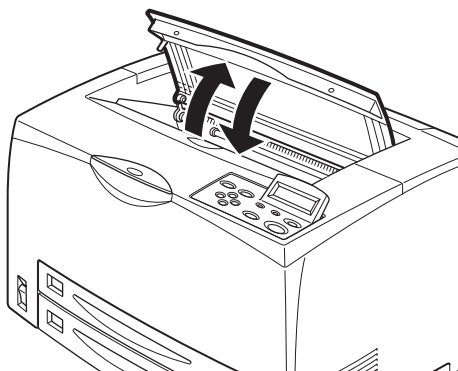
MP カセットおよび給紙カセット付近でつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 カセットをプリンタから引き抜く

2 カセット内にシワのある用紙があれば取り除く

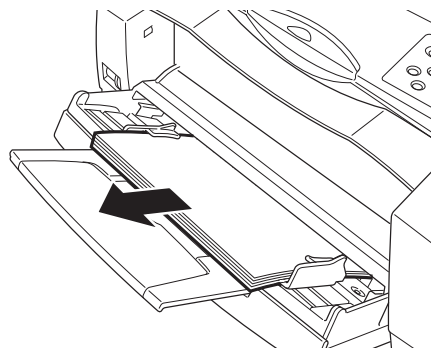
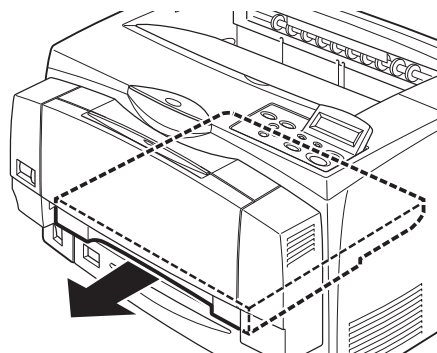
セットしてある用紙が乱れている場合は、整えてください。

3 プリンタの奥につまった用紙がないか確認する

つまった用紙はゆっくりと引き抜きます。

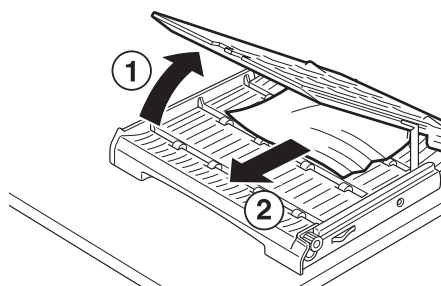
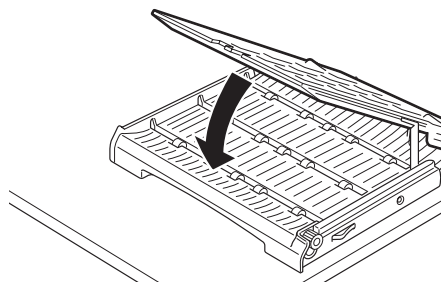
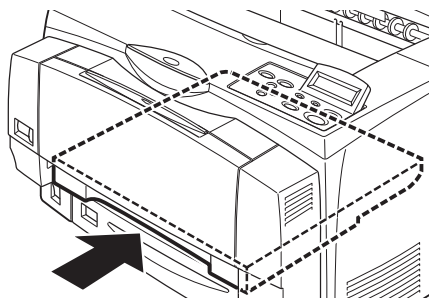
お願い

オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜いて確認してください。

4 カセットをプリンタの奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

5 上部カバーを開き、内部に用紙が残っていないことを確認して閉じる

給紙トレイでつまった用紙を取り除く

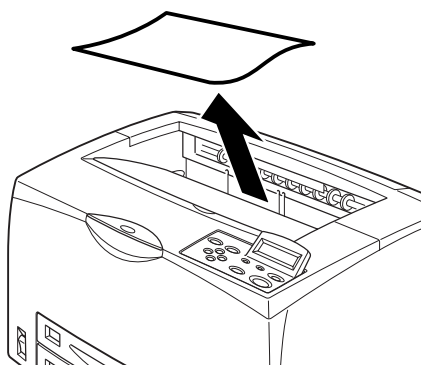
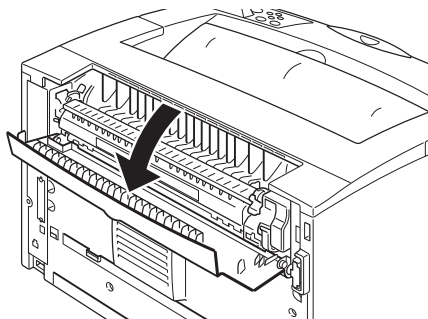
給紙トレイでつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

1. セットされている用紙を取り出し、用紙セット部を閉じる

2. 搬送部を引き抜く

3. 搬送部の上部を開け（①）、つまっている用紙があれば取り除く（②）

お願い

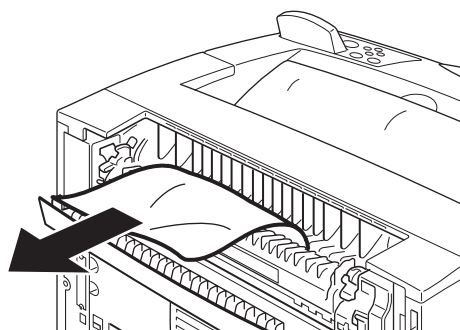
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4. 搬送部の上部を閉じる

5 搬送部をプリンタの奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

定着器付近でつまった用紙を取り除く

定着器付近でつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

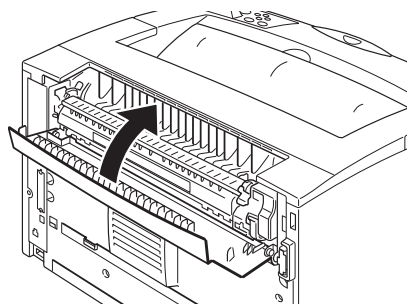
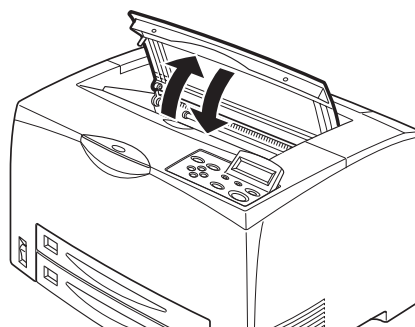
1 排出トレイに用紙がある場合は取り除く

2 背面カバーを開く

3 ★印のついたレバーを手前に下げる

つまっている用紙があれば、取り除きます。途中で用紙が破れている場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

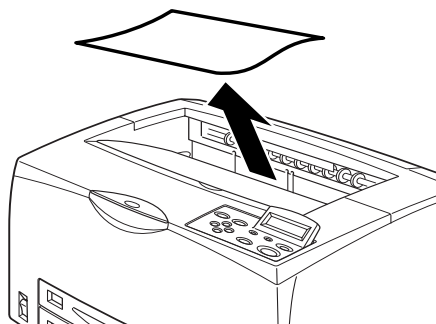
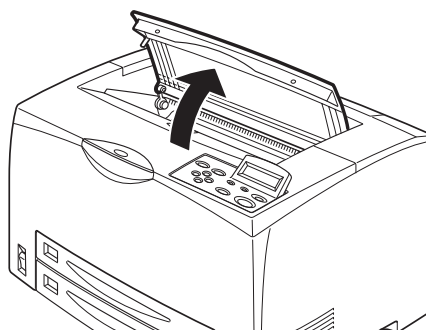
ガイド

★の付いたレバーは、手を離すと元の位置に戻ります。
左右にある緑色のレバーは、下がった状態にしておいてください。

お願い

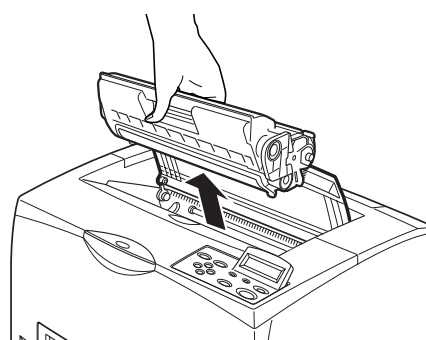
定着器は高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

4 背面カバーを閉じる

5 上部カバーを開き、内部に用紙が残っていないことを確認して閉じる

プロセスカートリッジ付近でつまった用紙を取り除く

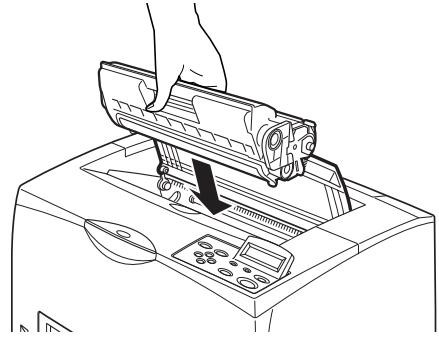
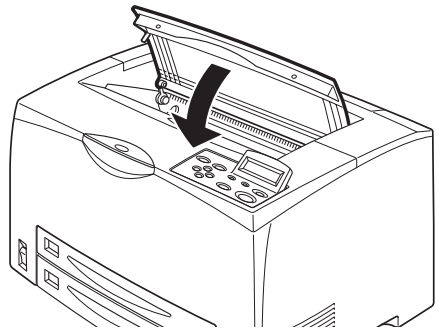
1 **プロセスカートリッジ付近でつまった用紙は、次の手順で取り除きます。**

排出トレイに用紙がある場合は取り除く

2 **上部カバーを開く**

3 **プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げる**

ガイド

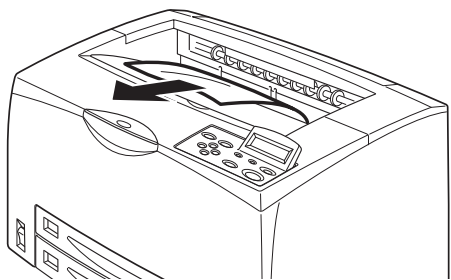
トナーで床などを汚さないように、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には紙などを敷いておいてください。

4 **プロセスカートリッジを取り出した部分を確認する**

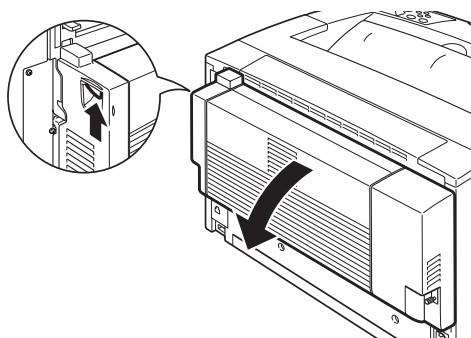
つまっている用紙や破れた紙片が残っていないかどうか確認し、あれば取り除きます。

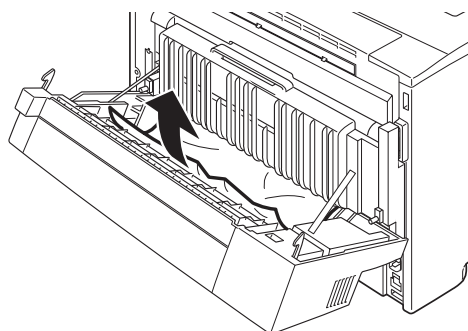
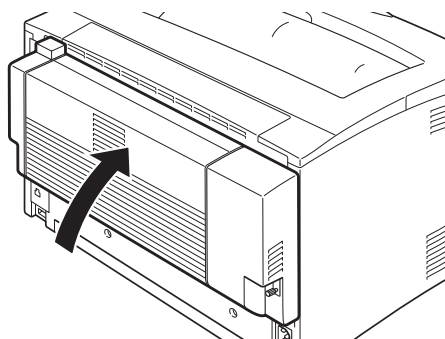
5 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタに取り付ける

6 上部カバーを閉じる

両面ユニットにつまった用紙を取り除く

両面ユニットにつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

●排出口付近につまった用紙を取り除く

用紙の排出口を確認し、つまっている用紙を取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。
また、用紙が取り出しにくい場合は、次項「上カバー内につまった用紙を取り除く」を参照してください。

●上カバー内につまった用紙を取り除く

1. **両面ユニットの左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニットの上カバーを開く**

2. **上カバー内部を確認し、つまっている用紙があれば取り除く**

   用紙が破れた場合は、紙片が内部に残っていないかどうかを確認してください。

3. **両面ユニットの上カバーを閉じる**

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

ガイド
パソコンのアプリケーションからの印刷やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

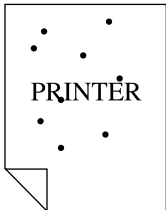
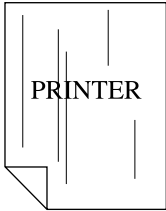
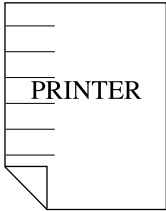
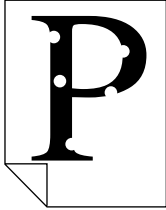
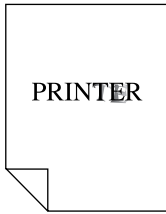
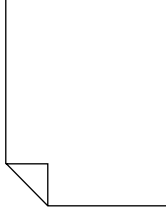
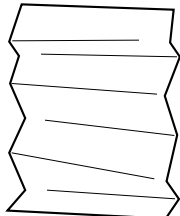
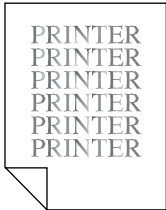
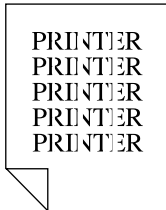
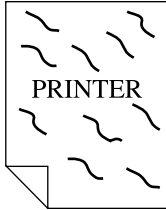
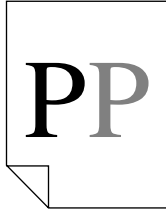
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照 参照「電源の投入」（41 ページ）参照 参照「電源の切断」（55 ページ）参照
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・パラレルケーブル、USB ケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・パラレルケーブル、USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照「パラレルケーブルの接続」（57 ページ）参照 参照「USB ケーブルの接続」（59 ページ）参照 参照「電源の投入」（41 ページ）参照 参照「電源の切断」（55 ページ）参照 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（113 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	・A5 サイズの用紙をセットしているのに、プリンタがレターサイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが出る ・MP カセットにはがきをセットしているのに、プリンタが A5 サイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが出る。 ・MP カセットに A5 サイズの用紙をセットしているのにはがきと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが出る	・Printianavi を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。 ・カセットの縦／横ガイドクリップが正しくセットされているか確認してください。 ・MP カセットからはがきおよび A5 サイズの用紙に印刷する場合、用紙をセットした後にオペレータパネルの設定が必要になります。オペレータパネルで「MP ハガキモード」の設定を確認してください。 参照 プリンタの状態を表示するには『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ) 参照 参照「MP カセットにはがきをセットする」(47 ページ) 参照 参照「MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする」(48 ページ) 参照
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている	オペレータパネルの操作制限を解除してください。 参照「オペレータパネルの操作制限」(138 ページ) 参照
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない ・プリンタの状態で効かないスイッチがある	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」(113 ページ) 参照
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ) 参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ) 参照 参照「紙づまりになったとき」(152 ページ) 参照
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「安全上のご注意」(9 ページ) 参照 参照「用紙について」(141 ページ) 参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。 参照「給紙カセット、MPカセットへの用紙のセット」（44ページ）参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52ページ）参照
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 - A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 - A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 参照「安全上のご注意」（9ページ）参照 参照「用紙について」（141ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（152　ページ）参照
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している ・給紙カセットのフタをしていない	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「電源の投入」（41ページ）参照 参照「電源の切断」（55ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（152　ページ）参照 ・給紙カセットのフタは、必ず閉めて使用してください。
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 参照「プリンタの清掃」（101ページ）参照 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119ページ）参照
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「オペレータパネルのエラーメッセージ」（170ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている ・給紙トレイから用紙を補給している	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「設定」にしてください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119 ページ）参照 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。
プロセスカートリッジを装着してもカートリッジなしとエラーが表示される	・他社製のプロセスカートリッジを装着している ・プロセスカートリッジが故障している	・他社製のプロセスカートリッジを使用していないか確認してください。 ・上部カバーを開いている場合には、上部カバーを閉じてください。 純正のプロセスカートリッジを使用していて、下記のエラー表示される場合にはプロセスカートリッジが故障しています。新しいプロセスカートリッジに交換してください。 カートリッジ゛　イシ゛ョウ ＥＰカートリッジ゛　コウカン 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	・印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した ・幅の狭い用紙などを大量に連続印刷した	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。
液晶ディスプレイの表示が判読できない プリンタの動作が安定しない ハングアップする	静電気による誤作動	アースが正しく接続されていることを確認してください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご連絡ください。

注意	やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい （かすれる、不鮮明）	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119 ページ）参照
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照「シールドガラスの清掃」（104 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照
	プロセスカートリッジ内にトナーがない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される PRINTER	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」(141 ページ)参照
	トナー残量が少なくなった。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照
黒線が印刷される PRINTER	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照
等間隔に汚れる PRINTER	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」(119 ページ)参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照
黒く塗りつぶされた部分に白点がある P	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」(141 ページ)参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
指でこするとトナーがかすれる PRINTER	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照
	定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。	定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」（141 ページ）参照
用紙全体に黒色がついて印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご連絡ください。
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照
	プロセスカートリッジにトナーが残っていない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
白抜けが起こる	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照「シールドガラスの清掃」(104 ページ)参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ)参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ)参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」(141 ページ)参照
	トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照
用紙にシワがつく	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ)参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ)参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ)参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ)参照
	定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。	定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」(141 ページ)参照
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ)参照 参照「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ)参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」(141 ページ)参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」(96 ページ)参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照「シールドガラスの清掃」（104 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
不要なトナーがつく	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（119 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」（141 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
太い文字や図形に影が出る	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。 参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ヨウシ　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット X(1、2 または 3) または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷可能状態になり、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ) 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	プリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときに指定されたサイズの用紙がないと表示されます。(給紙トレイ装着時は、プリンタドライバの設定の他にメニューモードの MP/ 給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているとき) 給紙カセットまたはMPカセットに指定サイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3) に、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷可能状態に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　MP カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、MP カセットに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 定型外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」(44 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　キュウシトレイ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 定型外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(52 ページ) 参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カセット　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	プリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときにすべてのカセット給紙口にカセットがないと表示されます。（給紙トレイ装着時は、プリンタドライバの設定の他にメニューモードの MP/給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているとき） 給紙カセットまたはMPカセットの給紙口にカセットをセットしてください。	参照 「第 5 章　オペレータパネルの操作」（113 ページ）参照
カセット　ナシ　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、指定した給紙カセットがないと表示されます。印刷するサイズの用紙を入れた給紙カセットをプリンタにセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照
カセット　ナシ　ＭＰ カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	MPカセットを指定して印刷を行う場合に、MP カセットがセットされていないと表示されます。印刷するサイズの用紙を入れたMPカセットをセットしてください。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照
ハンソウブ　ナシ　キュウシトレイ ハンソウブ　ヲ　イレテクダサイ	給紙トレイ指定印刷を行う場合に搬送部が引き抜かれていると表示されます。給紙トレイの搬送部をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙トレイを取り付ける」（74 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カミヅマリ 　×××××××××××××	紙づまりが発生すると表示されます。 給紙カセット、プリンタ内部、排出部、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙づまりが発生した場合、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外して、プリンタの内部を確認してください。 ×はエラー箇所です。次の９種類が表示されます。 ・カセット１ 　カセット１内部 ・カセット２ 　カセット２内部 ・カセット３ 　カセット３内部 ・キュウシトレイ 　給紙トレイ内部 ・MP カセット 　MP カセット内部 ・ハイシトレイ 　排紙部 ・プリンタナイブ 　プリンタ内部、給紙カセット、排紙部 ・リョウメン　ユニット１ 　プリンタ内部、給紙カセット、両面ユニット ・リョウメン　ユニット２ 　プリンタ内部、両面ユニット	参照 「紙づまりになったとき」（152 ページ）参照
カバー　オープン 　×××××××××××××	カバーを開けていると表示されます。オペレータパネルに表示された箇所を確認してください。 ×はカバーが開いている箇所です。 ・リョウメンカバー 　両面カバー ・ウエ / ハイメンカバー 　上部カバー、背面カバー	
ヨウシサイズ　フイッチ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 また、給紙カセットの縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていることを確認してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
サイズフイッチ　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットX（1、2または3）にセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 また、給紙カセットの縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていることを確認してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照
サイズフイッチ　　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	MPカセット装着時にプリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときに、MP カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。（給紙トレイ装着時は、プリンタドライバの設定の他にメニューモードの MP/ 給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているとき）いずれかのカセットに表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照
サイズフイッチ　ＭＰ カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときにMPカセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。また、はがきおよび A5 サイズの用紙に印刷するときにオペレータパネルの「MP ハガキモード」で設定している用紙サイズと印刷データの用紙が異なっている場合にも表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 また、縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されていない場合にも、表示される場合があります。縦 / 横のガイドクリップが正しく設定されているか確認してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照
サイズフイッチ　キュウシトレイ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
サイズカクニン　××××× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・××××× 給紙を行ったカセット、または給紙トレイ	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照
サイズフソク　ＭＰカセット Ａ４　ヲ　イレテ　クダサイ	MP カセットを取り付けた場合、設定の印刷時にA5より小さい用紙がセットされています。A4 サイズの用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットへの用紙のセット」（44 ページ）参照
サイズフソク　キュウシトレイ Ａ４　ヲ　イレテ　クダサイ	給紙トレイを取り付けた場合、設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされています。A4 サイズの用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（52 ページ）参照
カートリッジ　イジョウ ＥＰカートリッジ　コウカン	プロセスカートリッジが正しく認識できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジを正しくセットし直してください。セットし直しても本エラーが表示される場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	参照 「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
カートリッジ　ナシ ＥＰカートリッジ　カクニン	プロセスカートリッジがセットされていないと表示されます。プロセスカートリッジをセットしてください。	参照 「プロセスカートリッジの交換」（96 ページ）参照
ユニット　カクニン ×××××××××××××	表示されたユニットが正しくセットされていない場合に表示されます。表示箇所を確認し、セットし直してください。給紙トレイおよび両面ユニットを装着する場合は、あらかじめ電源を切ってから作業を行ってください。 ×はエラー箇所です。次の２種類が表示されます。 ・キュウシトレイ　ユニット 給紙トレイ ・リョウメン　ユニット 両面ユニット	参照 「給紙トレイの取り付けかた」（74 ページ）参照 「両面ユニットの取り付けかた」（76 ページ）参照
カイゾウド　シテイムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
メモリ　フソク カタメン　インサツ→セッテイ	メモリを増設していない状態でA3、B4、Legal の用紙を 1200dpi で両面印刷するときに、以下の状態の場合、表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を ☑ にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が ☐ のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると片面で印刷します。 Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷します。	参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（69 ページ）参照
メモリ　オーバー １ブ　　インサツ→セッテイ	メモリを増設しているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると 1 部のみ印刷します。 Printianavi 未使用時、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/ Windows Server 2003 環境で Printianavi を使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷を再開します。	
アンダーラン　エラー インサツ　セッテイ　カクニン	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。 ※ アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します。	
ジドウ　キュウシ　ムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。給紙口を指定して印刷をし直してください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
Ｃ０２　コントローラ　イジョウ ＲＡＭ１エラー	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）へご連絡ください。 『Ｃ１６　コントローラ　イジョウ』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期設定に戻します。 設定値を変更している場合は再度設定してください。 『Ｃ　１７　コントローラ　イジョウ』発生時は、電源を再投入するとプリンタに保存された消耗品警告履歴を消去します。	
Ｃ０３　コントローラ　イジョウ ＲＡＭ２エラー		
Ｃ０４　コントローラ　イジョウ ＣＧ－ＲＯＭ１エラー		
Ｃ０５　コントローラ　イジョウ ＣＧ－ＲＯＭ２エラー		
Ｃ０６　コントローラ　イジョウ ＣＧ－ＲＯＭ１２エラー		
Ｃ　１３　コントローラ　イジョウ ＭＡＣアドレスエラー		
Ｃ１５　コントローラ　イジョウ Ｆｌａｓｈ－ＲＯＭエラー		
Ｃ　１６　コントローラ　イジョウ トウロク　ショキカ　シマス		
Ｃ１７　コントローラ　イジョウ ログ　ヲ　ショキカ　シマス		
Ｃ２１　コントローラ　イジョウ ＬＳＩエラー		
Ｃ２２　コントローラ　イジョウ ＥＥＰＲＯＭエラー		
Ｃ２３　コントローラ　イジョウ ＲＯＭ１チェックサムエラー		
Ｃ　２４　コントローラ　イジョウ ＲＯＭ２チェックサムエラー		
Ｃ２５　コントローラ　イジョウ ＵＳＢエラー		
Ｅ０１　エンジン　イジョウ ＦＵＳＥＲイジョウ	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）へご連絡ください。	
Ｅ０２　エンジン　イジョウ ＲＯＳ　モータ　コショウ		
Ｅ０３　エンジン　イジョウ メイン　モータ　コショウ		
Ｅ０４　エンジン　イジョウ ファン　アラーム		
Ｅ０５　エンジン　イジョウ メモリ　イジョウ　Ｘ		
Ｅ０６　エンジン　イジョウ ツウシン　エラー　ＸＸＹＹ		
Ｅ０７　エンジン　イジョウ タイムアウト　エラー		

オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段の１～９桁目に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。
・警告表示の例

オンライン
カセットカクニン1

ガイド

警告が複数発生している場合、下記の表の上から順番に該当するエラーが表示されます。
※「カセットカクニン」と「トナーロー」のエラーが同時に発生した場合、「カセットカクニン」のエラーのみオペレータパネルに表示されます。「カセットカクニン」のエラーを回避後、「トナーロー」のエラーが表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置
カセットカクニン n	セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください。（n：カセット番号）
トレイカクニン	給紙トレイを装着時に、給紙トレイ搬送部が引き抜かれている場合に表示されます。正しくセットしてください。
MP カクニン	・MP カセットがセットされてないと、表示されます。MP カセットをセットしてください。 ・給紙トレイが正しく取り付けられていない状態で電源を投入した場合に表示されます。この場合、プリンタの電源を切り、給紙トレイを正しく取り付けてください。
トナーロー	トナーの残量が少なくなると表示されます。新しいプロセスカートリッジをセットしてください。
テイチャクキ	定着器の交換時期になると表示されます。「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）へご連絡ください。。
ソウチジュミョウ	本装置の寿命として規定している印刷ページ数を超過した場合に表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくても、装置導入後５年を経過した場合は装置寿命となります。 参照 「プリンタの基本仕様」（180 ページ）参照

付 録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

以下に、XL-5900G/5400G の各仕様を示します。

<table>
<tr><th>型名</th><th>XL-5900G</th><th>XL-5400G</th></tr>
<tr><td>印刷方式</td><td colspan="2">電子写真方式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷速度(コピー動作による連続印刷時)
単位：ページ / 分</td><td>普通紙
片面 両面
A4 30.6 21.4
A3 17.4 12.2
A5 30.6 21.4
B4 19.5 13.6
B5 30.6 21.4
不定形用紙[*4]
1.7 ～ 29.7 ―
長尺紙
1.0</td><td>普通紙
片面 両面
A4 25.4 17.8
A3 15.6 10.9
A5 25.4 15.7
B4 17.1 12.0
B5 25.4 17.8
不定形用紙[*4]
1.7 ～ 24.7 ―
長尺紙
1.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">・ 両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。
・ 厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。
・ 不定形用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。</td></tr>
<tr><td>ウォームアップ時間</td><td colspan="2">12 秒以下（22 ℃、電源電圧 100Ｖ 時）</td></tr>
<tr><td>エンジン解像度</td><td colspan="2">600dpi ／ 1200dpi</td></tr>
<tr><td>データ処理解像度</td><td colspan="2">300dpi × 300dpi
600dpi × 600dpi
1200dpi × 1200dpi</td></tr>
<tr><td>スムージング処理</td><td colspan="2">Super FEIT(1200dpi 以外)
※ FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology</td></tr>
<tr><td>用紙種類</td><td colspan="2">・ MP カセット
普通紙 (60g/m^2 ～ 90g/m^2)、
厚紙(91g/m^2 ～ 135g/m^2)、
OHP フィルム、ラベル紙、はがき
・ 給紙トレイ(オプション)
普通紙 (60g/m^2 ～ 90g/m^2)、
厚紙(91g/m^2 ～ 135g/m^2)、
OHP フィルム、ラベル紙、はがき、長尺紙
・ 給紙カセット(標準)
普通紙、
厚紙(91g/m^2 ～ 135g/m^2)、
OHP フィルム、ラベル紙
・ 拡張給紙ユニット (オプション)
普通紙、
厚紙(91g/m^2 ～ 135g/m^2)</td></tr>
</table>

型名	XL-5900G	XL-5400G
用紙サイズ	・MP カセット A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、官製はがき、 ユーザ定義サイズ（幅 100 ～ 297mm、長さ 148mm ～ 420mm） ・給紙トレイ（オプション） A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、官製はがき、 長尺紙（幅 297mm 固定、長さ 420.1mm ～ 900.0mm）、 ユーザ定義サイズ（幅 100 ～ 297mm、長さ 148mm ～ 420mm） ・給紙カセット（標準）/ 拡張給紙ユニット（オプション） A3、B4、B5、A4、A5、リーガル、レター、 ユーザ定義サイズ（幅 100 ～ 297mm、長さ 148mm ～ 420mm）	
給紙方式 *1	給紙カセットによる自動給紙 （収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,500 枚） MP カセットによる自動給紙 （収容枚数 150 枚（はがき 60 枚）） 給紙トレイによる自動給紙 （収容枚数 100 枚（はがき 50 枚））	
両面印刷（オプション）	用紙種類：　普通紙(60g/m^2 ～ 90g/m^2) 用紙サイズ：　A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル	
排紙方法 *1	フェースダウンスタッカ（スタック枚数　250 枚）	
使用環境条件	温度 10 ℃～ 32 ℃ 湿度 15%～ 85%RH(ただし結露しないこと) （ただし、温度 32 ℃以上のときは湿度 70%RH 以下、湿度 85%RH 前後のときは温度 28 ℃以下、結露しないこと）	
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz	
消費電力	動作時　1100W 以下、節電時　20W 以下（節電モード後 5 分間は 20W、5 分以降は約 10W ） 平均消費電力：650W 以下（片面連続印刷時） 電源オフ時：0W*5	
突入電流	最大突入電流　100A 以下（電源 ON 時　突入時間：10m 秒以下）	
騒　音	動作時 53dB(A)、待機時 34dB(A)（フルオプション 56dB(A)）	
外形寸法	幅 505mm、奥行き 376(592)mm、高さ 324mm （ ）：カセット延長時	
質　量	約 19.5kg（消耗品、オプションを除く）	
インターフェース	IEEE 1284 双方向パラレルポート USB2.0 準拠 USB インターフェース 100Base-TX/10Base-T LAN ポート	
対応ネットワーク	TCP/IP (IPP, HTTP, BPP, LPR, DHCP, SNMP, SMTP, DNS, RAW (Port9100))	
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P	
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体	
耐用期間 *3	5年(8時間/日)または60万ページ印刷(A4サイズ横送り)のいずれか早い方	

*1：収容枚数は 64g/ ㎡にて換算

*2：データ処理解像度
- XL プリンタドライバ :1200dpi/600dpi/300dpi(スーパー FEIT:2400dpi × 600dpi 相当)
- ESC/P:180dpi

*3：耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。また本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品／消耗品／定期交換部品について」（187 ページ）をご参照ください。

付録

*4：不定形サイズの用紙に印刷する場合は、以下の速度で印刷します。

単位（ページ / 分）

不定形		XL-5900G		XL-5400G	
幅	長さ	普通紙	厚紙	普通紙	厚紙
279mm 以上	216mm 以下	29.7	18.2	24.7	15.1
	420mm 以下	16.4	13.5	13.6	11.2
257mm 以上	184mm 以下	20.4	15.8	17.0	13.1
	364mm 以下	13.5	11.2	11.2	9.3
	420mm 以下	2.7	2.7	2.7	2.7
210mm 以上	149mm 以下	15.9	13.5	13.2	11.2
	270mm 以下	8.9	6.6	7.4	5.5
	420mm 以下	2.7	2.7	2.7	2.7
210mm 未満	250mm 以下	4.7	2.7	3.9	2.3
	420mm 以下	1.7	1.7	1.7	1.7

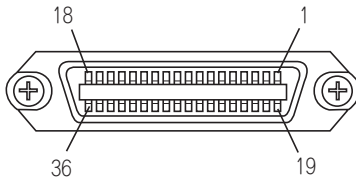
*5：電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが OFF の場合、電力の消費はありません。

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースを採用しています。

●パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
IEEE 1284 に準拠した双方向パラレインターフェース
・インターフェースコネクタ
プリンタ側：36 極コネクタ (メス)　アンフェノール　57-40360 相当品
ケーブル側：36 極コネクタ (オス)　アンフェノール　57-30360 相当品
・ケーブル
1.5m 以下のケーブルを使用してください。
(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
・信号レベル
LOW：0.0V ～+ 0.4V HIGH：+ 2.4V ～+ 5.0V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列

18 1 36 19

インターフェースコネクタ(36ピン)

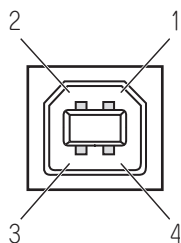
ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	—	−
16	SG	−
17	FG	−
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	−

付録

ピン番号	信号名称	発信元
20	-RET	－
21	-RET	－
22	-RET	－
23	-RET	－
24	-RET	－
25	-RET	－
26	-RET	－
27	-RET	－
28	-RET	－
29	-RET	－
30	-RET	－
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	－
34	—	－
35	—	－
36	＊ SelectIn	パソコン

注)“＊”は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

● USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様
USB 仕様の Revision2.0 準拠
・インターフェースコネクタ
プリンタ側：B レセプタクル（メス）
・ケーブル
XL-CBLU2 または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
・伝送モード
High Speed(最大 480Mbps)、Full Speed(最大 12Mbps)
・電力制御
セルフパワーデバイス
・USB ピン配列

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品一覧

●給紙トレイ

品名	型名	内容
給紙トレイ	XL-FT10W1 /XL-FT10W1G	1 段目のマルチユニットにセットして使用します。積載可能枚数は約 100 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合、および長尺紙に印刷する場合は、給紙トレイをご使用ください。なお、給紙トレイと MP カセットを同時に取り付けることはできません。

●拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25W1 /XL-EF25W1G	３段目、４段目の給紙ユニットとして使用できます。積載可能枚数は約 250 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。 LB315 給紙カセット（A3 ユニバーサル）添付
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55W1 /XL-EF55W1G	３段目、４段目の給紙ユニットとして使用できます。積載可能枚数は約 550 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。 LB315 給紙カセット (550 枚)A3U 添付

●両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPW1 /XL-DUPW1G	両面印刷用のユニットです。

●プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256M5 /XL-EM256MA	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタケーブル

・パラレルケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY/GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

・USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

有寿命部品／消耗品／定期交換部品について

●有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55％RH）において１日約８時間のご使用で約５年、または 60 万ページ印刷（A4 サイズ横送り）のいずれか早い方です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。交換の際は「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご連絡ください。
・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。
・本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

光学ユニット、制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

●消耗品について

・プロセスカートリッジ等の消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

参照　「サプライ品一覧」（189 ページ）参照

●定期交換部品について

・本製品には、その性能／機能を維持するために適時交換が必要な定期交換部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。定期交換部品の種類および交換周期は、下表をご参照ください。

定期交換部品	交換目安	表示メッセージ
定着器	10 万ページ印刷	テイチャクキ
用紙搬送ロールキット （給紙カセット、給紙トレイ搬送部用）	20 万枚印刷	無し
用紙搬送ロールキット（給紙トレイ用）	10 万枚印刷	無し
転写ロール	20 万ページ印刷	無し

付録

注： 交換目安は、A4 サイズ横送りのときの目安です。
片面印刷　１枚＝１ページ
両面印刷　１枚＝２ページ

- 定期交換部品料金および交換作業費は有償です。費用の支払い方法については、契約保守サービスの締結の有無、および契約内容によって異なります。詳しくは「FMWORLD.NET」をご参照、または「ハードウェア修理相談センター」（193 ページ）にご相談ください。
- 定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後５年間です。

● 24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

サプライ品一覧

サプライ用品の商品番号を次の表に示します。
これらの品物については、本製品をお買い求めの販売店へご相談ください。
PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

注意

故 障　プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A3	0411650	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4（Y）	0411612	
	B5（Y）	0411645	
	A5（Y）	0411635	
再生オフィス用紙 EC100 （100% 再生紙）	A3	0414355	500 枚× 3 冊で 1 ケース
	B4	0414325	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	A4	0414315	
	B5	0414345	
モノクロ LBP 用長尺用紙		0421020	プリンタドライバで「用紙種類」を「厚紙」に設定してください。
プロセスカートリッジ LB315A		0805110	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 6,000 枚 (*1) です（印刷の内容により、多少の差があります）。
プロセスカートリッジ LB315B		0805120	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 10,000 枚 (*1) です（印刷の内容により、多少の差があります）。
LB315 給紙カセット（MP）		0805310	サイズ：A3 ～ A5、官製はがき、不定形 枚数：150 枚（推奨用紙） 本体の MP カセットと同一品です。
LB315 給紙カセット （A3 ユニバーサル）		0805320	サイズ：A3 ～ A5、不定形 枚数：250 枚（推奨用紙） 本体および拡張給紙ユニット -A(XL-EF25W1) 添付のカセットと同一品です。
LB315 給紙カセット （550 枚）A3U		0805330	サイズ：A3 ～ A5、不定形 枚数：550 枚（推奨用紙） 拡張給紙ユニット -B(XL-EF55W1) 添付のカセットと同一品です。
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 :600(W) × 610(D) × 440(H)mm

付録

*1　上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。
また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「トナーロー」の警告表示が出る前に、黒筋、薄黒い汚れやカスレが発生する場合があります。
プロセスカートリッジの寿命ですので、新しいプロセスカートリッジに交換してください。

ガイド

- プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。
- 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。

用紙関係

本プリンタは、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

●印刷方向

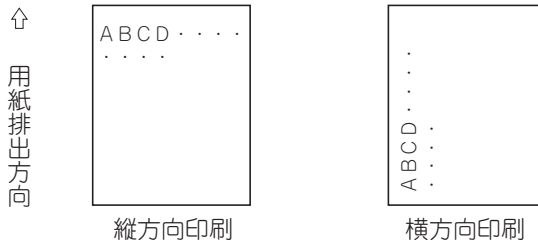
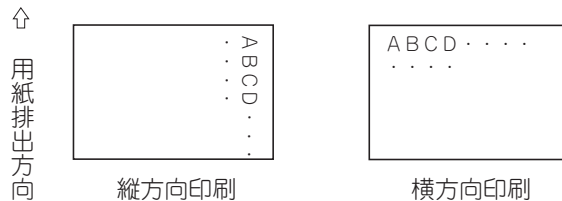
・A3、B4、リーガル、長尺紙サイズの用紙の場合

⇧ 用紙排出方向

縦方向印刷　横方向印刷

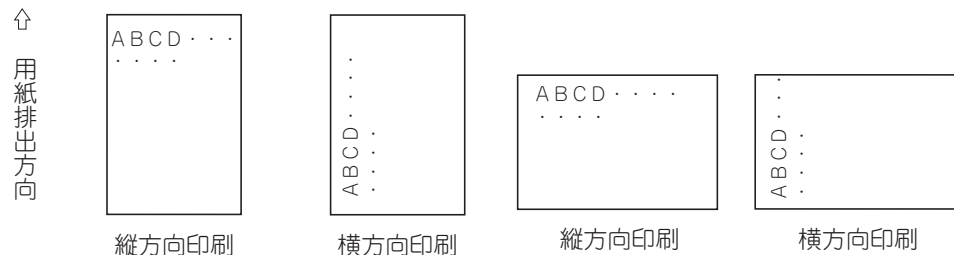
・A4、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合

⇧ 用紙排出方向

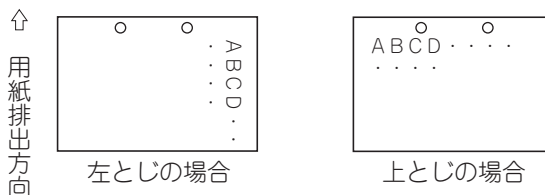
縦方向印刷　横方向印刷

・ユーザ定義サイズの用紙の場合

縦長（幅<長さ）の用紙の場合：　横長（幅>長さ）の用紙の場合：

⇧ 用紙排出方向

縦方向印刷　横方向印刷　縦方向印刷　横方向印刷

とじ穴のある A4 サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

⇧ 用紙排出方向

左とじの場合　上とじの場合

ガイド

用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。

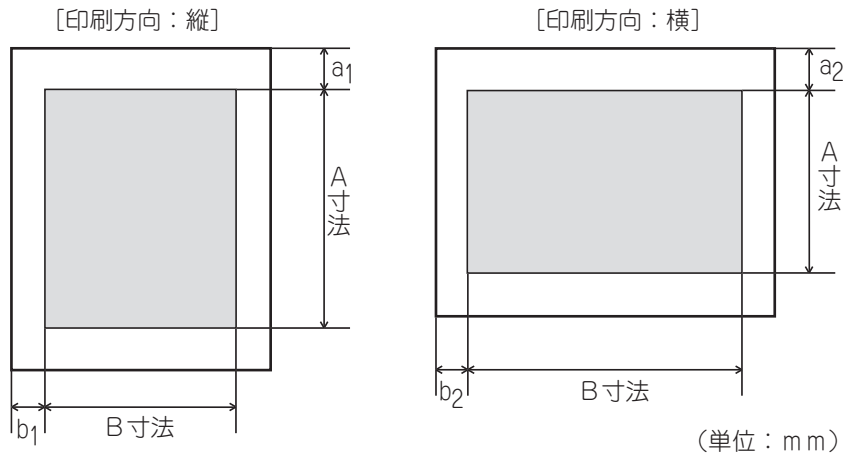
参照 プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］　　［印刷方向：横］

a1　A寸法　b1　B寸法　　a2　A寸法　b2　B寸法

（単位：ｍｍ）

・Printia XL ドライバ使用時
a1=a2=5mm、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

・ESC/P モード使用時
a1=a2=8.5mm または 22mm(はがき :10mm)、b1=b2=5mm

用紙方向	用紙サイズ		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5mm 時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm 時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5mm 時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm 時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

アフターサービスについて

・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
・保証書は日本国内のみで有効です。
・無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
・本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後５年です。ご了承ください。
・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
・故障の際は下記にご連絡ください。
「ハードウェア修理相談センター」
　フリーダイヤル：0120-422-297
　　受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
　　（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）
・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
　フリーダイヤル：0120-950-222
　　受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
　　（土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

●使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。
『エコ受付センター』
　フリーダイヤル：0120-300-693
　　平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
　　（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

●修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

1 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、設定を復元するために必要な情報を印刷します。

① 印刷可能状態

↓「メニュー」スイッチ押下

メニュー
▶ システム　インサツ ▼

②

↓「▼」スイッチ押下

システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ ▲

↓「設定」スイッチ押下

↓

③ 印刷終了

システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ ▲

2 拡張給紙ユニットを取り外す

参照 「拡張給紙ユニットを取り外す」（85 ページ）参照

⚠ 注意	けが	・必ず2人で行ってください。 ・プリンタの電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

索 引

こ

さ

し

す

せ

た

ち

つ

て

と

は

ふ

め

ゆ

よ

ら

り

ページプリンタ　XL-5900G/5400G

取扱説明書

B5WY-0971-01-00

発行日　2006年1月

発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan